

令和4年度

事務の管理及び執行の状況に  
関する点検及び評価報告書

令和5年8月

かほく市教育委員会

## はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和4年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、「かほく市教育振興基本計画」に基づき具体的施策について、自ら事務事業の点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいて作成したものです。

かほく市教育委員会としては、今の時代を生き抜き、多様化する課題に対し主体的に解決できる力を身につけ、次代のかほく市を担う人材をしっかりと育てていくため、計画期間を令和元年度から令和5年度までの5年間とする「第2期かほく市教育振興基本計画」の着実な実現に向かって、引き続き、「自ら考え ともに学び 明日をひらく人づくり」をめざすため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

令和5年8月

かほく市教育委員会

# 目 次

I	教育委員会の活動状況	1
	(1) 総合教育会議の開催・審議状況	1
	(2) 教育委員会会議の開催・審議状況	1
	(3) 教育委員の主な活動状況	4
II	点検及び評価	6
	(1) 総括	6
	(2) 前年度の学識経験者からの主な意見に対する取組	10
	(3) 点検及び評価の方法	12
	(4) 学識経験者の主な質問・意見等	12

《第2期かほく市教育振興基本計画に基づく具体的な取組内容・成果及び今後の方向性》

**■基本目標1 確かな学力をはぐくみ一人一人の個性を大切にします**

基本的方向1- (1) 確かな学力の育成	14
①新学習指導要領の着実な実施と外国語教育の強化	
②学力調査等による現状把握と学習指導方法の改善	
③家庭学習の定着と充実	
④認定こども園と小学校、小学校と中学校との連携強化	
基本的方向1- (2) 豊かな心と社会の変化に対応できる資質・能力の育成	19
①道徳教育の推進	
②自己肯定感の育成と発達段階に応じたふるさとキャリア教育の推進	
③学校における体験活動や読書活動の推進	
基本的方向1- (3) 児童生徒の体力増進と運動能力の向上	22
①学校における運動機会の充実	
②健康づくり、体力向上をめざす教育の充実	
③安全でおいしい給食の提供、食育の推進	
基本的方向1- (4) 新しい時代の教育に向けた学校指導体制の整備	25
①教職員の資質の向上と組織的な学校経営	
②教育センターにおける時代の変化に対応した研修の実施	
③教職員の働き方改革の推進	
基本的方向1- (5) 多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援	29
①特別支援教育の充実	
②いじめ等への対応の徹底	
③不登校児童生徒等への自立支援	
④教育相談体制の充実	
⑤経済的な理由による子供たちの就学支援	
基本的方向1- (6) 安心して学べる教育環境の整備・充実	34
①学校施設の長寿命化の推進	
②新たな学びを実現するICT環境等の整備	
③通学路の安全対策と安全・防災教育の充実	

## ■基本目標 2 家庭・地域・学校が連携し教育力の向上に取り組みます

基本的方向 2- (1) 家庭の教育力の向上	37
①親学びへの支援と家庭教育に関する学習の推進	
②親子による体験活動などの促進	
③インターネット社会に対応する力の向上	
基本的方向 2- (2) 社会教育の活性化による地域教育力の向上	40
①地域に活力を与える人材の育成	
②社会教育団体の再興と活性化	
③連携と協働による社会教育の推進	
基本的方向 2- (3) 学校を核とした家庭・地域との連携の強化	42
①学校を核とした活動の充実	
②「支援」から「連携・協働」へとつながる意識の醸成	
③地域課題解決のための多世代が関わる体制づくり	

## ■基本目標 3 生涯にわたって学ぶ意欲を持ち豊かな人間性を育成します

基本的方向 3- (1) 人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進	44
①「学び」を活かす機会と活動の充実	
②生涯学習に関する情報の発信	
③市民大学校による学びの充実	
基本的方向 3- (2) 読書環境の充実と生涯学習拠点としての機能強化	47
①生涯学習拠点施設としての機能の強化	
②子供の読書活動の推進	
③市立図書館と学校図書館との連携	
基本的方向 3- (3) 博物館活動の充実と情報発信	50
①石川県西田幾多郎記念哲学館の充実	
②うみっこらんど七塚の充実と「海と渚の博物館」機能の強化	
基本的方向 3- (4) 生涯学習活動を支える環境の整備・充実	53
①生涯学習センターの運営管理	
②地域交流施設などの有効活用	

## ■基本目標 4 郷土の自然、歴史、文化を継承し芸術文化活動の充実を図ります

基本的方向 4- (1) ふるさと学習の充実	55
①ふるさと「かほく市」を学び知る機会の提供	
②かほく市ゆかりの人物に関する情報の発信	
基本的方向 4- (2) 芸術文化活動の促進と支援	57
①芸術や文化活動に触れる機会の提供	
②文化活動団体・個人への支援	
基本的方向 4- (3) 未来に伝える文化財の保護と活用	59
①文化財を活用した学習の充実	
②文化財の公開と活用の促進	
③文化財の適切な保護と管理	

**■基本目標 5 豊かなスポーツライフの創造をめざします**

基本的方向 5- (1) 生涯にわたるスポーツ活動の振興	62
①スポーツへの参画人口の拡大	
②運動習慣の定着とスポーツを通じた生きがいのづくり	
③女性活躍の促進と障がい者がスポーツに親しめる環境の整備	
基本的方向 5- (2) 競技スポーツの強化と底辺の拡大	65
①競技力向上にむけたスポーツ機会の充実	
②指導体制の充実	
③競技選手への支援の充実	
④学校教育と連携した運動習慣の確立と体力の向上	
基本的方向 5- (3) スポーツ団体の育成支援と連携	69
①(仮称)かほく市スポーツ協会設立にむけた調整の実施	
②スポーツ少年団への支援	
③体育協会への支援	
④地域スポーツクラブへの支援	
⑤高齢者の運動に対する活動支援	
基本的方向 5- (4) スポーツ活動を支える環境の整備・充実	74
①スポーツ施設の整備と機能の充実	
②スポーツ施設の効率的な管理・運営	
③スポーツによる地域活性化の促進	

**■基本目標 6 異なる文化や価値観を尊重し世界に通じる人づくりを進めます**

基本的方向 6- (1) 多文化共生社会および国際化に対応した教育の充実	77
①国際交流事業の推進	
②多様な文化に対する理解の推進	
③実践的な外国語教育の充実	
基本的方向 6- (2) 人権教育の推進	80
①学校教育における人権教育の推進	
②社会教育における人権教育の推進	

III 資料	81
--------	----

# I 教育委員会の活動状況

## (1) 総合教育会議の開催・審議状況

令和4年度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に定める総合教育会議を開催し、1件の議件について協議しました。

### ◎令和4年度 総合教育会議開催状況

開催日	協議・調整事項
令和5年1月18日	・中学校部活動地域移行について

## (2) 教育委員会会議の開催・審議状況

令和4年度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、及び「市長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任する規則」の規定に基づき、教育委員会会議を11回開催し、議案17件について審議しました。

また、教育委員会の新制度以降、会議の審議内容について、会議録をホームページに公開し、開かれた教育委員会をめざしました。

### ◎令和4年度 教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
令和4年第4回 (令和4年4月28日)	議案第12号 かほく市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第13号 かほく市特別支援教育推進委員会委員の委嘱について 議案第14号 かほく市体文化財保護審議会委員の任命について 議案第15号 かほく市少年愛護センター少年愛護員の委嘱について 議案第16号 かほく市社会教育委員の委嘱について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度かほく市教育委員会事務組織図について</li> <li>・ 令和4年度教育事務所学校訪問の市教委参加の日程調整について</li> <li>・ 令和4年度市教委学校訪問の日程調整について</li> <li>・ 奨学生選考委員会委員の選出について</li> <li>・ 公務災害補償等審査会委員の選出について</li> <li>・ ケーブルテレビ放送番組審議会委員の選出について</li> <li>・ 各種組織委員の確定報告について</li> </ul>
令和4年第5回 (令和4年5月26日)	議案第17号 第2次子どもの読書活動推進計画について

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
令和4年第6回 (令和4年6月22日)	<p>議案第17号 第2次子どもの読書活動推進計画について（継続審査）          議案第18号 令和3年度事務の管理及び執行の状況に関する点検及び          評価報告書について          議案第19号 かほく市公民館長の任命について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度第2回議会定例会提出議案について</li> <li>・ 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費6月認定結果について</li> <li>・ 令和4年度奨学資金支給に係る奨学生の決定について</li> <li>・ 令和4年度第1回社会教育委員会議の結果について</li> </ul>
令和4年第7回 (令和4年7月19日)	<p>議案第18号 令和3年度事務の管理及び執行の状況に関する点検及び          評価報告書について（継続審査）</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費7月認定結果について</li> <li>・ 令和4年度特別支援教育奨励費支給決定結果について</li> <li>・ 令和4年度コミュニティ・スクールプランに係る査定結果について</li> <li>・ 令和4年度かほく市地域おこし協力隊の採用について</li> </ul>
令和4年第8回 (令和4年8月25日)	<p>議案第18号 令和3年度事務の管理及び執行の状況に関する点検及び          評価報告書について（継続審査）          議案第20号 かほく市教育委員会表彰選考委員会委員の委嘱について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年第3回議会定例会提出予定議案について</li> <li>・ 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費8月認定結果について</li> <li>・ 令和4年度北信越中学校総合競技大会等の成績について</li> <li>・ かほく市電子図書館の電子書籍の利用に関する要綱の制定について</li> </ul>
令和4年第9回 (令和4年9月21日)	<p>議案第21号 令和3年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費9月認定結果について</li> <li>・ 市長による特別授業「かほく市のまちづくり」の実施について</li> <li>・ かほく市生涯学習フェスティバルの実施について</li> <li>・ 令和4年度石川県市町教育委員会連合会研究大会(珠洲大会)について</li> <li>・ 令和4年度教育委員県外視察研修（案）について</li> <li>・ 国民文化祭の概要について</li> <li>・ 管理・指導・教育センターより</li> </ul>

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
令和4年第10回 (令和4年10月28日)	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度河北郡市教育委員会連合会研修会について</li> <li>・ 第19回かほく市成人式について</li> <li>・ 第19回かほく市立志式について</li> </ul>
令和4年第11回 (令和4年12月19日)	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年第4回議会定例会提出議案について</li> <li>・ 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 11月認定結果について</li> <li>・ 令和4年度かほく市特別支援教育推進委員会の結果について</li> <li>・ 総合教育会議における協議調整事項について</li> <li>・ 第19回市制施行記念継走大会について</li> <li>・ かほく市民交流スポレクサーキット大会結果について</li> </ul>
令和5年第1回 (令和5年1月18日)	議案第1号 令和5年度かほく市教育目標について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第19回かほく市成人式参加状況について</li> <li>・ 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 12月認定結果について</li> </ul>
令和5年第2回 (令和5年2月16日)	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年第1回議会定例会提出議案について</li> <li>・ 第2期かほく市教育振興基本計画の検証について</li> <li>・ 令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 2月認定結果について</li> <li>・ かほく市スポーツ体験会「はつスポ」について</li> <li>・ イオンモールかほく連携事業昔遊び体験について</li> </ul>
令和5年第3回 (令和5年3月24日)	議案第2号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について 議案第3号 かほく市教育委員会の所管に係るかほく市個人情報保護条例施行規則を廃止する規則について 議案第4号 かほく市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について 議案第5号 かほく市立学校の学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 議案第6号 かほく市学校運営協議会委員の任命について 議案第7号 かほく市公民館長の任命について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理担当専門員・指導主事・教育センター所長からの報告について</li> </ul>

### (3) 教育委員の主な活動状況

#### ◎教育委員が出席した主な活動等

年 月 日	活 動 内 容
令和 4 年 4 月 4 日	初任・新任教職員辞令交付式
令和 4 年 4 月 7 日	かほく市立小中学校入学式
令和 4 年 5 月	河北郡市教育委員会連合会定期総会（書面開催）
令和 4 年 5 月 10 日	第 1 回教育委員代表者会議
令和 4 年 5 月 10 日	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
令和 4 年 5 月 27 日	かほく市奨学生選考委員会
令和 4 年 5 月 31 日	指導主事訪問（七塚小学校）
令和 4 年 6 月 5 日	かほく市総合体育大会開会式
令和 4 年 6 月 7 日	第 78 回寸心忌・献花式 第 69 回石川県学童話し方大会
令和 4 年 6 月 10 日	指導主事訪問（河北台中学校）
令和 4 年 6 月 17 日	指導主事訪問（高松小学校）
令和 4 年 6 月 30 日	指導主事訪問（金津小学校）
令和 4 年 7 月 19 日	かほく市教育委員会点検及び評価報告書に関する意見懇談会
令和 4 年 8 月 2 日	石川縣市町教育委員会セミナー
令和 4 年 9 月 28 日	指導主事訪問（宇ノ気中学校）
令和 4 年 9 月 30 日	第 2 回教育委員代表者会議
令和 4 年 10 月 3 日	指導主事訪問（宇ノ気小学校）
令和 4 年 10 月 8 日	かほく市 P T A 大会
令和 4 年 10 月 28 日	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（珠洲市）
令和 4 年 10 月 29 日	かほく市教育委員会表彰式
令和 4 年 10 月 31 日	指導主事訪問（高松中学校）
令和 4 年 11 月 1 日	河北郡市教育委員会連合会研修会
令和 4 年 11 月 18 日	指導主事訪問（外日角小学校）
令和 4 年 11 月 28 日	指導主事訪問（大海小学校）
令和 5 年 1 月 8 日	第 19 回かほく市成人式
令和 5 年 1 月 18 日	総合教育会議
令和 5 年 2 月 1 日	第 19 回かほく市立志式
令和 5 年 2 月 1 日	新任教育委員研修会

年 月 日	活 動 内 容
令和 5 年 3月10日	かほく市立中学校卒業式
令和 5 年 3月16日	かほく市立小学校卒業式

◎教育委員の臨席について規模縮小等の理由で取りやめた主な事業等

年 月 日	活 動 内 容
令和 4 年 5月21日	小学校運動会（宇ノ気小）
令和 4 年 9月23日	小学校運動会（高松小学校・大海小学校・外日角小学校）
令和 4 年 9月21日	中学校体育祭（高松中学校）
令和 4 年 9月29日	中学校体育祭（河北台中学校）
令和 4 年10月 4日	中学校体育祭（宇ノ気中学校）
令和 4 年10月 1日	小学校運動会（金津小学校）
令和 4 年10月15日	小学校運動会（七塚小学校）

◎新型コロナウイルス及び豪雨災害等の影響のため中止となった事業等

年 月 日	活 動 内 容
令和 4 年 7月	北信越中学校総合競技大会・全国中学校体育大会・北陸吹奏楽コンクール出場選手激励会
令和 4 年 8月	第74回石川県民スポーツ大会

## II 点検及び評価

### (1) 総括

#### ◇目的

かほく市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検評価し、その結果を議会に報告するとともに、市民に公表することにより、効果的な教育行政の推進や市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

#### ◇点検評価の対象及び方法

点検評価の対象は、令和4年度に実施した教育委員会所管の主要な事業とし、その取組状況と成果について教育委員会が点検評価を行いました。

#### ◇事業評価

第2期かほく市教育振興基本計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）に基づく施策を迅速かつ的確に推し進めるためには、施策の基本的方向に掲げた様々な具体的な取組の実施状況を常に把握し、具体的な取組に示した104項目の数値目標に対し、PDCAサイクルによる進行管理を行います。

具体的な取組に示した数値目標項目の達成状況は、次のとおりです。

基本目標	数値目標 項目数	数値目標 測定不能	改善傾向 項目数	目標達成 項目数
【基本目標1】 生きる力をはぐくみ 一人一人の個性を大切にします	54	0 (4)	24 (20)	20 (16)
【基本目標2】 家庭・地域・学校が連携し 教育力の向上に取り組みます	9	0 (0)	3 (2)	2 (1)
【基本目標3】 生涯にわたって学ぶ意欲を持ち 豊かな人間性を育成します	15	0 (0)	5 (3)	3 (2)
【基本目標4】 郷土の自然、歴史、文化を継承し 芸術文化活動の充実を図ります	8	0 (0)	0 (0)	6 (5)
【基本目標5】 豊かなスポーツライフの創造を めざします	15	0 (0)	6 (5)	2 (0)
【基本目標6】 異なる文化や価値観を尊重し 世界に通じる人づくりを進めます	3	0 (0)	1 (3)	1 (0)

( ) は前年度数値

全項目数104項目のうち目標達成項目数は34項目で全体の33%、改善傾向項目数は39項目で全体の37%となりました。各々合わせて70%の73項目が、令和4年度に目標を達成又は状況の改善が見られたという結果となっています。また、測定不能項目については調査再開等によりすべての項目で測定可能となりました。目標達成項目及び改善傾向項目

共に、前年度と比べ項目数が増加し、新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残っていた前年度より達成・改善傾向が進んでいます。

個別の基本目標ごとの分析については次のとおりです。

【基本目標1】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目については10項目で、その主な内容では基本的方向1-(1)③「家庭学習の定着と充実」1-(2)②「自己肯定感の育成と発達段階に応じたふるさとキャリア教育の推進」1-(5)①「特別支援教育の充実」の数値指標が低い傾向にあります。中でも自己肯定感に関するアンケート調査の数値が低くなっており、新型コロナウイルス感染症による体験的な活動の制限やコミュニケーション不足が影響していると考えられます。

【基本目標2】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目は4項目あり、その主な内容は、基本的方向2-(1)③「インターネット社会に対応する力の向上」で、自宅でのSNSやインターネット利用状況についての数値指標が低く、学校での1人1台端末によるICT教育が進む中、家庭におけるSNSやインターネットの活用ルールや情報モラルに関する指導・注意喚起の必要性が考えられます。

【基本目標3】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目は7項目と少し割合が高く、その主な内容としては基本的方向3-(1)②「生涯学習に関する情報の発信」③「市民大学校による学びの充実」3-(3)②「うみっこらんど七塚の充実と「海と渚の博物館」機能の強化」であり、その数値指標には、哲学館来館者数やうみっこらんど来館者数、市民大学校講座や出前講座の開催に関する指標が用いられていますが、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったものの、未だ来館者数等が低い現況が影響しています。

【基本目標4】での目標達成以外の項目については2項目あり、その主な内容は、基本的方向4-(2)②「文化活動団体・個人への支援」で、数値指標となっている文化協会加盟会員が低い状況でした。少子高齢化や趣味の多様化などが影響していると考えられます。

【基本目標5】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目は7項目と少し割合が高い状況です。その主な内容としては、基本的方向5-(3)②「スポーツ少年団への支援」③「体育協会への支援」④「地域スポーツクラブへの支援」であり、数値指標としてはスポーツ少年団の加入率、体育協会やスポーツクラブの加入者数が低い状況でした。これも少子高齢化の影響や新型コロナウイルスによる活動制限をきっかけとしたスポーツ全般の参加意欲の低下が影響しているものと考えられます。

【基本目標6】での目標達成項目、改善傾向項目以外の1項目については、その内容が基本的方向6-(1)②「多様な文化に対する理解の推進」であり、その数値指標である海外留学奨励金件数が低く、海外渡航の制限等が影響していると考えられます。

#### ◇令和4年度 新たに取り組んだ施策等の概要

- ・外国語教育の取組として、中学校における4技能（聞く・話す・読む・書く）の習得をめざし、中学2年生全員にこれまでも行っていた標準学力調査（筆記試験）に加えて、新たに「スピーキング調査」を実施しました。
- ・宇ノ気小学校校舎のバリアフリー化を図るためエレベーターを整備しました。また、新しい生活様式を踏まえ、安心・安全な学習環境等の整備として3年計画（令和3～5年度）としていたトイレの洋式化を令和4年度で100%となるよう整備しました。
- ・中学校部活動の地域移行計画に関することや、地域スポーツ・文化の持続可能な振興策の検討及び競技団体・文化団体との協議結果の報告、さらに、種目毎で実施する休日における地域移行体制等を報告し、種目毎により良い体制となるよう「部活動地域移行検討協議会」を設置しました。
- ・令和3年度、年度途中で石川県全域（津幡町・中能登町除く）に導入された「統合型校務支援システム」の本格運用を開始しました。出席簿や通知表、週案作成などをデータ化することにより教職員の働き方改革にも繋がります。
- ・学校一保護者間の連絡業務負担を軽減するため、クラウド型の連絡システム「コドモン」を導入し、出欠連絡、お便り及び電話対応業務の省力化を図りました。
- ・I T-C A T Sかほく推進協議会では、プログラミングの基礎課程を修了した小学4年生以上を対象に、更に意欲を持ってプログラミングやものづくりを楽しむ場として「K-L a b（ケーラボ）」を開設しました。令和4年度には、参加者の興味関心を更に広げるために、同じ教材を活用する企業や高専の見学を実施しました。
- ・コミュニティ・スクールの先進事例から今後の方向性を見出すため、「かほく市コミュニティ・スクールシンポジウム」を実施しました。学校運営協議会委員、校長等教職員が参加し、学校と地域の関係性や子どもたちの学びの環境などについて意見交換をしました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中断している姉妹都市交流事業を継続するため、中学生とメスキルヒ市の生徒がEメールで交流する「Eメールエクステンジプログラム」を実施するとともに、お互いの顔を見て交流するオンラインミーティングを実施しました。
- ・障害者差別解消法や読書バリアフリー法を受け、I C Tを活用したデジタルサービスの提供を展開し、文字拡大や音声読み上げ対応など、電子書籍の利点を活かした多様な読書環境の整備を図りました。
- ・石川県西田幾多郎記念哲学館開館20周年の節目を迎え、寸心忌記念講演会と兼ねた開館記念特別講演会の開催をはじめ、20周年にちなんだ企画展や講演会を実施しました。また、西田幾多郎に関するオリジナルグッズを製作・販売するとともに、新たな展示品として、西田幾多郎旧宅書斎の「床の間」を復元し、展示棟に設置しました。

- ・国籍を問わず、文化や言語に多様な背景をもつ「外国につながる子ども」への支援を図るため、石川県国際交流協会との連携によるサポーター養成講座を開催しました。また、サポーターの活動に関心がある方を対象に、子ども日本語支援サポーターについての説明会と日本語教室見学会を開催し、外国につながる子どもサポーターの募集を行いました。
- ・令和4年4月に、かほく市高松産業文化センター内に市史編さん室を設置し、図説編の出版に向けた準備を本格化しました。
- ・スポーツ施設整備計画に基づき、宇ノ気体育センター、宇ノ気スポーツセンターのアリーナ等照明のLED化改修工事を実施しました。
- ・スポーツによる地域活性化を進めていくうえで、ハブとなる「かほくスポーツコミッション（仮称）」の設立に向け、事業のコアとなる担い手の方々との意見交換を行いました（コア会議）。また、地域おこし協力隊を7月から採用し、市の潜在的な魅力についての調査と賑わい創造に向けたイベントの検討を開始しました。

(2) 前年度の学識経験者（松本吉雄氏・中谷良子氏・谷内正樹氏）からの主な意見に対する取組

【部活動の地域移行及び地域スポーツのあり方について】

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>中学校部活動の全国大会が来年度から地域スポーツ団体等も参加できることとなり、関係団体が参加を検討している。また、数年後には部活動の地域移行が一気に加速する。</p> <p>かほく市では、新しい体育館が建設され、スポーツコミッションにも力を注ぐとなると、市内中学校で部活動のあり方を検討する良い時期と考える。</p> <p>小手先の変更ではなく大胆な発想で捉え、中学校の枠を越えて、また、体育館建設を機に一緒に検討を進めていくことを提案する。</p>	<p>保護者等に対する地域移行に関するアンケート調査を行い、令和5年3月に「中学校部活動地域移行検討協議会」を開催し、画一的ではなく、受け皿となる競技団体の状況も踏まえた地域移行を進めることとしました。</p> <p>今後は、文化協会や総合型地域スポーツクラブ、設立予定のスポーツコミッションのあり方を含め、多くの団体との協議を進めながら中学生のスポーツ・文化活動の環境整備に努めて参ります。</p>

【小規模特認校について】

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>金津小学校の特長について、「自然豊かな環境に恵まれた小規模校」として周知を行っているが、アバウトすぎて魅力に欠ける。</p> <p>例えば、水泳教室に専門的なコーチを付けて取り組むとか、英語教育に力を入れるとかなど、分かりやすい特長を発信することができれば、ここで学びたいと思う児童や保護者も増加するのではないかとと思われる。</p>	<p>隣接する金津の森などの自然豊かな環境に恵まれた小規模特認校として、児童一人一人にきめ細かな学びを実現できる学校として、ホームページや広報紙により魅力を周知しました。</p> <p>令和4年度は3人、令和5年度は4人の児童が当該制度を利用しており、一定の評価がされております。</p>

【学校規模の適正化について】

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>市内小中学校の児童生徒数については、全体的には少子化の影響により減少傾向にあるが、特に小学校において偏在化が進んでいる現状を踏まえ、今後の児童数の推移見込みに基づいて、学校再編についても検討課題として取り上げていかなければならないのではないか。</p>	<p>将来の児童数の推移見込に基づき、外日角小学校の改修計画を策定するとともに、大海小学校及び金津小学校の複式化の見込についても市長部局との情報共有を行いました。</p> <p>今後も継続して適正化に関する情報共有を図って参ります。</p>

**【地域教育力の活性化について】**

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>新型コロナウイルスの影響のため、第2期かほく市教育振興基本計画の基本目標における改善傾向、目標達成項目数が低くなっており、中には目標達成がゼロとなっている項目もあるが、この遅れを今後どうやって取り戻すかが重要と考える。</p> <p>地域も同様に行事がなかなかできないことから人間関係やコミュニケーションが取れていないのが現状であるが、地域の活力をどうやって向上させていくかを地域だけではなく学校や教育行政との協働により地域におけるコミュニケーションを復活させる方策を検討する必要がある。</p>	<p>現在、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけがこれまでの2類相当から5類相当に引き下げられたことを受け、各事業については感染症対策をとったうえで従来の規模で実施する傾向となっています。</p> <p>今後の事業の実施にあたっては、地域内のニーズを把握しながら、多数の市民が参加し、今まで以上の人間関係が築けるよう、周知方法にSNSを積極的に取り入れるなど、より広い市民層への周知に努めて参ります。</p>

**【コミュニティ・スクールの取組について】**

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>社会教育団体の再構築は困難であるが、地域の核となる存在である学校をうまく利用することにより地域を元気にすることも方法の一つと考える。</p> <p>コミュニティ・スクールの取組を見直し、地域から依頼される行事だけではなく、学校からも児童生徒に地域活動に積極的に参加させるなど相互一体となる取組となるよう工夫を求めます。</p>	<p>例年実施している社会教育団体の事業に他団体の協力を得ることで、学習や活動に厚みを持たせ、なおかつ相互の事業を理解周知できた事例がありました。</p> <p>地域の活動内容について、情報を共有することで学校に知ってもらおうと同時に、学校での学びを地域で深める機会をつくるなど地域が子どもを受入れやすい体制となるような環境づくりに努めて参ります。</p>

### (3) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題などを示している。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、松本吉雄氏、中谷良子氏、谷内正樹氏から様々な意見や助言を得た。

### (4) 学識経験者からの主な意見等

#### 【地域に活力を与える新たな施策について】

主な意見等
「地域づくりは人づくり」と常々考えており、3年余りコロナ禍を経過した今、地域の繋がりが薄れており今度どのようにしてその繋がりを取り戻すかが重要と考える。 かほく市総合体育館が今年度完成を向かえる中で、新体育館を活用し、市民が希望を持てるような新しい施策に取り組んでもらいたい。 また、公民館活動をはじめ地域のコミュニティの再活性化に向けて取り組んでほしい。

#### 【インターネット社会に対応する改革について】

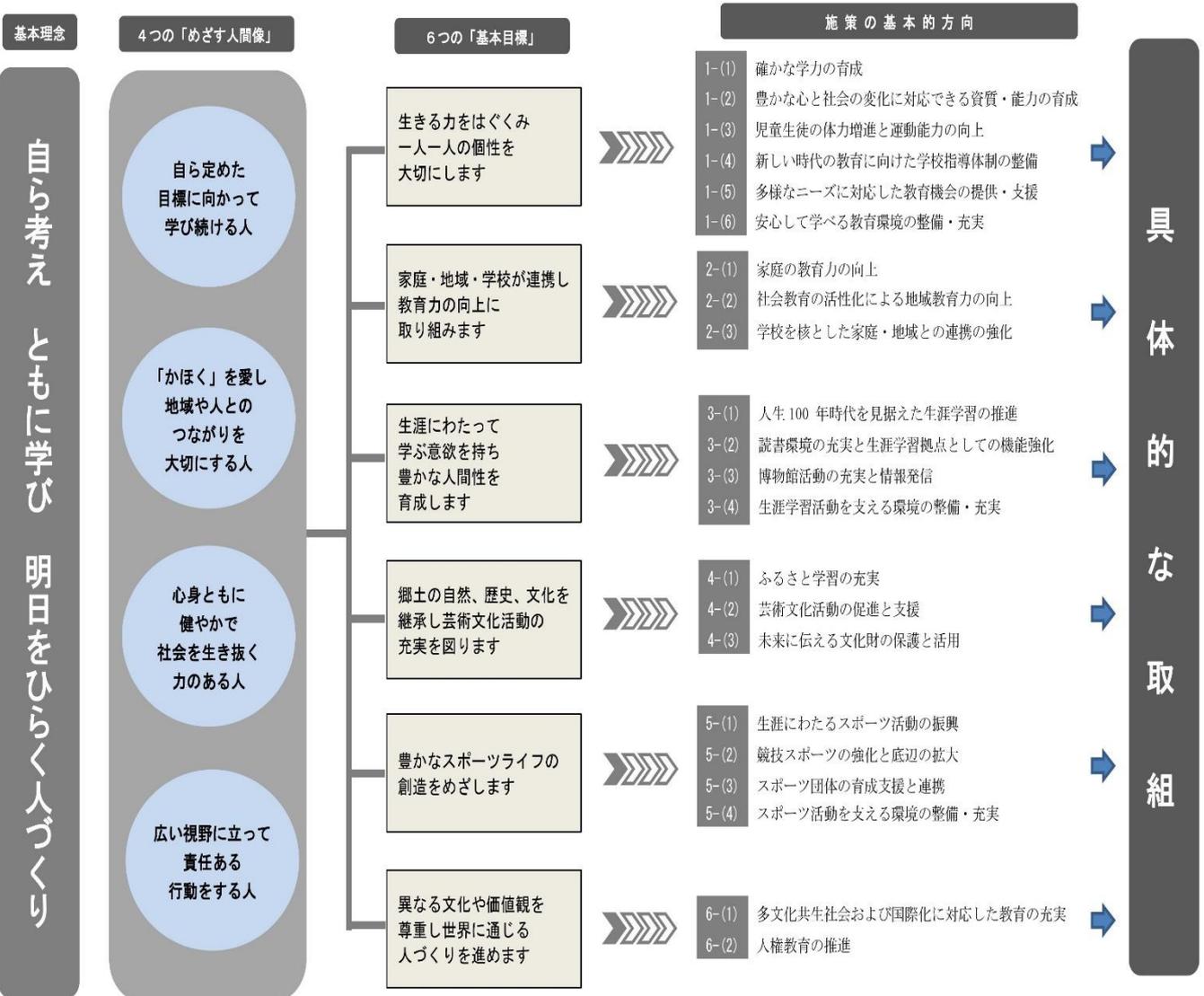
主な意見等
最近、児童がSNS（インターネット上のコミュニティサイト）を使ってみたいと個人所有の携帯電話や情報端末を持ちたがっている。市として、児童生徒が個人所有の情報端末等を所有することについて、使うことを前提としたもう少し踏み込んだ教育を検討しないと現実から遅れをとるのではないかと。

#### 【部活動地域移行の取組と教員の関わりについて】

主な意見等
今年の石川県中学校体育大会では、女子バレーボール競技でクラブチームが優勝し、剣道競技ではクラブチームが上位に名を連ねた。 最近特に部活動を一生懸命やりたい、反対にやりたくないと思っている本人及び親がはっきりと分かれてきているように感じる。これまでの部活動を振り返ると、やりたい・やりたくないと思っている双方が一緒に練習量を行ってきたことで賛否両論あったが、地域移行によって希望する方向性に区分けが出来て児童生徒にとって良い方向に進んでいくのではないかと考えている。

#### 【教育振興基本計画作成全般について】

主な意見等
第3期教育振興基本計画を作成するにあたり、第2期教育振興基本計画では目標値と実績値が大きくかけ離れている項目が多く見受けられるので、第3期作成の際には目標値についても見直しを図ってもらいたい。



## 基本的方向 1 – (1) 確かな学力の育成

### ① 新学習指導要領の着実な実施と外国語教育の強化

担 当 課

学校教育課

<取組内容・成果>

#### 【外国語教育の取組】

- ・学習指導要領に示された、中学校における4技能（「聞く」「話す」「読む」「書く」）の習得をめざし、生徒の学習成果と課題を客観的に評価し、中学3年生に向けての授業改善を行うため、2年生全員にこれまでも行っていた標準学力調査（筆記試験）に加え、英語スピーキング調査を実施した。

（英語4技能試験結果の概要）

- ・令和2年度の課題であったリスニング（聞く力）については、令和3年度、4年度ともに全国平均を大きく上回ることができた。また、ライティング（書く力）の力はこれまで同様本市の強みである。一方、スピーキング（話す力）に関しては、内容は適切だが、文法・表現に軽微な誤りがあるため正答に至らないケースが多く見られた。

〈中学生英語4技能試験結果（中学2年生対象）〉 ※令和4年度（ ）内は、筆記試験による結果

	TOTAL	READING	LISTENING	WRITING	SPEAKING
令和4全国参考値		(60.6)	(55.3)	(49.9)	
令和4年度		70.0(64.8)	(60.1)	(58.0)	42.9
令和3全国参考値	399.0	82.0	93.0	134.0	87.0
令和3年度	443.2	90.4	105.1	149.2	98.7
令和2全国参考値	374.0	75.0	95.0	113.0	84.0
令和2年度	422.0	88.2	95.3	146.2	91.8
令和元年度	403.6	87.4	97.3	126.3	92.1

- ・小学校における学習指導要領において外国語の教科化に伴い、平成30年度から全小学校3年生以上の英語の授業をTT授業で行うため、日本人英語指導助手5人を配置している。また、中学校には、外国語指導助手を各中学校に1人ずつ配置し、生徒の英語の実践的コミュニケーション能力の基礎を養った。

#### 【情報活用能力の育成】

- ・学習指導要領に示されたプログラミング教育については、(株)PFUの協力を得て、全小学校4年生以上において、プログラミング体験学習を実施した。また、その事前研修として、5・6年生担任を対象としたICT活用研修会を開催した。
- ・教職員向けの端末の操作やデジタル教材の操作研修会を各学校単位で実施した。また、令和3年度に引き続き、県教員総合研修センターにGIGAサポート研修の要請を行い、ICT機器を活用した指導力の向上に取り組んだ。市教育センターでは、市学校教育研究会（情報教育推進部会）と連携し、「1人1台端末を活用した授業づくり」に関するGIGAスクール対応研修会を実施した。また、端末のより効果的な活用を促進するため、ミライシードのムーブノートの使い方に関するオンライン研修会を希望者を対象に実施した。
- ・学習指導要領の着実な実施に向け、保護者には学校の指導方針がしっかり伝わっていることが重要である。かほく市共通アンケート（保護者対象）において、「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子などがわかりやすく伝わってきますか？」の問いに、「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の両方を含めた回答は小学校では93.2%、中学校では90.2%となっており、対前年度と比較してもおおむね学校からの指導方針等は伝わっていると判断できる。

かほく市共通アンケート（保護者対象）

上段：令和2年8月調査 中段：令和3年7月調査 下段：令和4年7月調査

「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子などがわかりやすく伝わってきますか？」

小学校		高松小	大海小	七塚小	外日角小	宇ノ気小	金津小	平均
「当てはまる」	R2	33.3%	66.3%	31.4%	35.0%	30.0%	53.8%	34.8%
	R3	34.3%	61.6%	28.5%	37.3%	31.4%	49.2%	35.1%
	R4	38.7%	56.0%	32.4%	35.3%	29.4%	58.7%	35.5%
「どちらかといえば当てはまる」	R2	60.0%	33.7%	62.7%	58.5%	61.5%	43.1%	58.6%
	R3	58.8%	35.4%	67.6%	54.3%	61.2%	49.2%	58.3%
	R4	57.4%	44.0%	63.7%	56.5%	60.0%	39.7%	57.7%

中学校		高松中	河北台中	宇ノ気中	平均
「当てはまる」	R2	38.7%	20.7%	30.6%	29.2%
	R3	34.3%	21.1%	28.3%	27.3%
	R4	22.8%	28.0%	26.5%	26.1%
「どちらかといえば当てはまる」	R2	53.6%	65.9%	54.9%	58.5%
	R3	58.2%	65.1%	61.2%	61.8%
	R4	68.9%	59.9%	64.9%	64.1%

肯定的評価	小	中
R元年度	94.5%	90.1%
R2年度	93.4%	87.7%
R3年度	93.4%	89.1%
R4年度	93.2%	90.2%

【今後の方向性】

- ・令和5年度においては、県の英語教育指導アドバイザー派遣事業における研究授業の機会を活用し、小学校の担任及び中学校英語科担当教諭を対象とした相互授業参観を行い、校種や校区を超えた教科連携を強化します。
- ・プログラミング教育については、令和4年度同様、(株)PFUの協力を得て、全小学校4年生・6年生を対象としたプログラミング体験学習を実施します。
- ・令和3年度からGIGAスクール構想による児童生徒「1人1台端末」の本格的な活用が求められており、令和4年度では、効果的な活用をめざしました。また、GIGAスクールにおける学びの充実を図るため、令和3年度から小中連携ICT教育研究推進校を指定し、児童生徒1人1台端末やデジタル教材を活用した効果的な指導のあり方を調査研究し、10月、11月には公開研究会を開催して、研究の成果を市全体に発信しました。令和5年度は、1人1台端末の積極的・意図的・効果的な活用をめざし、各校のGIGA校内研修推進リーダーを対象に、前期の各校での実践交流をするなどにより、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めます。

数値目標項目		計画時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子がわかりやすく伝わってくる」と回答した保護者の割合	小学校	37.1%	37.9%	34.8%	35.1%	35.5%	50.0%
	中学校	33.3%	32.5%	29.2%	27.3%	26.1%	50.0%
英語教育実施状況調査で「英語検定3級程度以上の英語力」を有する生徒の割合	中学校	29.5%	55.0%	65.4%	68.8%	81.5%	70.0%

## ② 学力調査等による現状把握と学習指導方法の改善

担 当 課	学校教育課
-------	-------

＜取組内容・成果＞

- ・教職員の指導方法の改善を図るため、全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査、市学力調査の結果を活用し、学力等の現状分析を行い、指導改善につなげた。

	市	県（抽出調査）	国
小学4年生		国語・算数	
小学5年生	国語・算数		
小学6年生		社会	国語・算数・理科
中学1年生	国語・数学 理科・社会		
中学2年生	国語・数学 理科・社会・英語		
中学3年生		社会・英語	国語・数学・理科

＜全国学力調査等におけるかほく市の平均点と石川県の平均点の比較＞

学年・科目		H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
中 学 3 年生	国語A（知識）	1.2	0.7	0.0	2.0	2.0	中止	2.0	0.0
	国語B（活用）	2.0	1.5	0.0	3.0				
	数学A（知識）	1.0	2.4	▲2.0	2.0	2.0		3.0	▲1.0
	数学B（活用）	1.0	2.8	▲3.0	3.0				
	英語※H27～H30、 R3、R4は県	▲2.2	0.3	▲5.1	▲0.7	2.0		0.9	▲2.7

学年・科目		H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
小 学 6 年生	国語A（知識）	3.1	0.6	4.0	▲1.0	1.0	中止	3.0	1.0
	国語B（活用）	0.9	1.3	4.0	2.0				
	算数A（知識）	2.9	1.6	1.0	0.0	▲1.0		1.0	0.0
	算数B（活用）	2.3	2.1	2.0	1.0				

＜35人以下学級実現のための講師配置状況＞

	講師採用数	配 置 校	備 考
平成25年度	2人	高松小(1)・宇ノ気小(1)	小学校5年を対象
平成26年度	3人	高松小(2)・宇ノ気小(1)	小学校5・6年を対象
平成27年度	2人	高松小(1)・宇ノ気小(1)	〃
平成28年度	2人	七塚小(1)・宇ノ気小(1)	〃
平成29年度	2人	高松小(1)・七塚小(1)	〃
平成30年度	1人	高松小(1)	〃
令和元年度	2人	外日角小(1)・宇ノ気小(1)	〃
令和2年度	1人	宇ノ気小(1)	〃
令和3年度	1人	七塚小(1)	〃
令和4年度	0人		講師不足のため休止

【今後の方向性】

- ・ICTを最大限活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めます。また、児童生徒の興味・関心に応じた目標に向けて、児童生徒自身が自らどのような方向性で学習を進めていけば良いかを考える「学習の個性化」の実現もめざしていきます。

- ・国や県が実施する学力や学習状況に関する調査に加え、引き続き、市独自の学力テストを実施し、調査結果の分析により、各学校においては、毎年度、学力向上ロードマップ及び学力向上プランを策定し、学力向上PDCAサイクルを確立するとともに、かほく市学校教育研究会の学力向上部会等を通じて、授業の工夫・改善について、指導・助言します。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答した学校数	小学校	4校	—	6校	6校	6校
	中学校	3校	—	3校	3校	3校

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

### ③ 家庭学習の定着と充実

担当課	学校教育課
-----	-------

#### <取組内容・成果>

- ・かほく市共通アンケート調査（7月調査）で「自分で計画を立てて勉強している」と回答した割合が、小学校は令和3年度をやや下回り、中学校では、対前年度よりもやや上回り、2年続けて増加した。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症によってこれまでの生活サイクルの乱れが数値に表れたと推測されるが、コロナ禍での生活にも慣れ、コロナ禍前の生活に戻りつつあると推測される。例年、市学力向上部会（市学校教育研究会組織）が中心となり、各学校が家庭学習の課題や時間について児童生徒が帰宅する前に見通しを持たせたことや「家庭学習カード」を活用することで、保護者に家庭学習への理解や協力を得ることに努めている。
- ・ICTを活用した家庭学習の機会が増加したことから、家庭での情報機器の正しい使い方、動画の視聴やSNSなどの書き込みなど、児童生徒が規則正しい生活が送れるよう、情報モラル教育を各校で実施している。
- ・小中連携協議会において、小中の連結がスムーズに行われるよう、各中学校区において小中で連携してルールを確認する等など、端末の活用方法についての共通理解を図った。

#### 【今後の方向性】

- ・児童生徒用端末の家庭への持ち帰りを想定した家庭学習への取組として、一律の課題を与えることにこだわるのではなく、個に応じた課題を与えたり、児童生徒が自ら選択して取り組むことができるようにしたりするなどの指導を行います。また、保護者に対しても、ICTを活用した家庭学習の重要性を理解してもらい、協力を得ることに引き続き努めます。
- ・市学力向上部会が中心となり、児童生徒が計画的に学習を進めることができるよう、小学校においては毎月1回、中学校においては定期テスト毎の家庭学習強化週間を設け、保護者からの励ましのメッセージをもらうなど、家庭と連携して学習意欲の向上を図っていきます。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）で「自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合	小学校	45.5%	55.3%	46.7%	46.9%	45.1%	60.0%
	中学校	41.6%	35.9%	28.4%	33.6%	35.3%	60.0%
かほく市共通アンケート調査（7月調査）で、「平日、メールやライン等のSNSやインターネット等を行っている時間が1時間未満」と回答した児童生徒の割合（※）	小学校	43.2%	53.3%	49.6%	50.4%	44.5%	80.0%
	中学校	50.0%	38.1%	31.5%	29.9%	27.0%	80.0%

（※）基本的方向2-(1)③の数値目標と同様

#### ④ 認定こども園と小学校、小学校と中学校との連携強化

担当課 学校教育課

##### <取組内容・成果>

###### [幼小連携について]

- ・認定こども園と小学校が、「『架け橋期の目標』の具現化を意識した指導の充実」を取組の重点とし、「幼小連携協議会」や重点交流活動を通して、幼児教育と小学校教育の接続について共通理解・共通行動を図った。

(第1回幼小連携協議会) 期日 令和4年8月26日(金)

内容 実践紹介(宇ノ気小学校)と2学期以降の取組(重点交流活動の設定)

###### ◇重点交流活動(10~11月)

- ・各小学校区で「あきとなかよし(5歳児と小学1年生等の交流活動)」を実施

(第2回幼小連携協議会) 期日 令和5年2月3日(金)

内容 各小学校区の実践紹介と「重点交流活動」の振り返り(3視点からの考察)

- ・幼児教育と小学校教育の接続を円滑に行うために、各小学校区の「接続推進計画」を作成し、それに基づく取組を推進した。

###### [小中連携について]

- ・小中学校の連携については、中学校区単位で小中9年間を通した児童生徒の育成をめざし、「小中連携協議会(テーマに沿った協議・情報交換)」や授業参観等を開催した。

###### ◇小中連携協議会

[高松中校区] 期日: 令和4年8月26日(金)

会場: 高松中学校

内容: 各校の取組の発表・協議(効果的なタブレットの活用など)

[河北台中校区] 期日: 令和4年8月1日(月)

会場: 外日角小学校

内容: テーマ別協議(ICTの活用や児童生徒への支援など)

[宇ノ気中校区] 期日: 令和4年8月18日(木)

会場: 金津小学校・宇ノ気小学校・宇ノ気中学校

内容: 部会別協議(学力向上部会・GIGA部会・生徒指導部会・教務部会)

##### 【今後の方向性】

- ・「幼小接続カリキュラム(接続推進計画)」に基づき、5歳児と小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、架け橋期の目標(育成をめざす資質・能力)を具現化する教育活動を推進します。令和5年度は、「3つの視点(①「架け橋期の目標」につながる子どもの姿、②環境の構成・環境づくり、③先生の援助)」を意識した指導の充実をめざし、「相互参観(4~5月)」と「重点交流活動(10~11月)」を中心に、幼小の相互理解を推進します。また、宇ノ気小学校区(うのけ幼稚園: 令和4・5年度文部科学省「幼児教育の理解・発展推進事業」研究推進園に指定)の取組を他の地域へ発信・拡充し、幼小連携の更なる充実を図ります。
- ・「学びの連続性」を意識した継続性・連続性のある小中連携した指導を強化し、学力向上や生徒指導、特別支援教育等の充実を図ります。令和5年度は、各中学校区の教育目標(めざす子ども像)を設定し、「小中連携協議会」や授業参観等を通して、年間を通した小中連携の取組をより一層推進します。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
幼小連携協議会(認定こども園と小学校)の開催回数		2回	2回	2回	2回	2回	4回
全国学力・学習状況調査で「近隣等の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」と回答した学校数	小学校	1校	1校	—	4校	5校	6校
	中学校	2校	0校	—	3校	3校	3校

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## 基本的方向 1 - (2) 豊かな心と

### 社会の変化に対応できる資質・能力の育成

① 道徳教育の推進							
担当課		学校教育課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、毎年、児童生徒の実態や保護者などの願いなどの現状を踏まえた上で、道徳教育における重点目標を定め、各学年における具体的な取組を進める全体計画（年間指導計画）を策定し、「考える道徳、議論する道徳」について共通理解を図り、各校での各教科での指導や特別活動での指導を含め、道徳教育を推進した。</li> <li>西田幾多郎記念哲学館と連携し、共通道徳からふるさと教育として内容を変更し、小学5年生及び中学2年生を対象に小学校では「西田先生の生涯を中心に、その人となりを学習する」、中学校では「西田幾多郎の生涯からその哲学までを学び、自己を見つめ、これからの生き方を考える」をテーマとし、哲学対話や講話を実施した。また、大海小学校において「小学生の哲学対話」を1学期と3学期全年を対象に開催した。</li> <li>令和4年度は、いしかわ道徳教育推進事業の道徳教育推進校に河北台中学校を指定し、多様な考え方を活かすための言語活動や道徳の授業における1人1台端末の効果的な活用について研究し、研究発表会を開催することにより市内の教職員に対して取組の普及・啓発を図った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「考える道徳」「議論する道徳」の具現化に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善を進め、問題解決的な学習を進めるなど、発達段階を踏まえた効果的な指導方法の工夫・改善に引き続き取り組みます。</li> <li>地域教材の活用として、郷土の偉人である西田幾多郎について、その生き方や考え方を学び、郷土への愛情を育むため西田幾多郎記念哲学館と連携した「ふるさと教育～西田幾多郎から学ぶ～」を実施します。小学5年生は、道徳の授業「吾行く道を吾はゆくなり」の実施と「哲学対話」、中学2年生は「西田幾多郎記念哲学館」の見学と講話を通して自己を見つめ、これからの生き方を考えます。</li> <li>1人1台端末など、ICTを効果的に活用した道徳の授業づくりに取り組みます。</li> </ul>							
数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合	小学校	26.6%	23.5%	—	23.8%	24.2%	50.0%
	中学校	26.2%	12.8%	—	18.1%	14.5%	50.0%
全国学力・学習状況調査で「児童・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童生徒の割合	小学校	28.4%	33.4%	—	40.9%	39.0%	50.0%
	中学校	36.1%	34.4%	—	40.5%	38.3%	50.0%
※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止							

## ② 自己肯定感の育成と発達段階に応じたふるさとキャリア教育の推進

担当課

学校教育課

### <取組内容・成果>

- すべての中学校で、例年夏季休業中に行っている「職場体験活動」は、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できなかった。代替行事として、学校へ講師を招き、体験談や実演学習を実施しました。
- かほく市共通アンケート調査の「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し、「当てはまる」と答えた割合は令和3年度と比較しても小学校 1.1%、中学校 2.2%減少し、かつ、目標値に達することができなかった。数値が上がらなかった一つの要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティ・スクールを含めたすべての活動が制限されたものと推測する。夢や希望を持った子どもを一人でも多く育てていくことを第一に考え、地域を知る活動や地域の方々からいろいろな話を聞き、今の学びが将来に生きることを深く考える取組、また、家族・身近な人の仕事調べ、社会見学や工場見学を通じて働く人々の姿に触れる体験的活動を今後も継続的に取り組んでいく必要がある。
- 多くの生徒の新たな学びにつながる事業を展開
  - \* 市長による特別授業 「かほく市のまちづくり」を実施（2中学校）  
かほく市の魅力を再認識し、市の将来に対して希望を見出し、かほく市に愛着と誇りを持つことを目的に実施した。  
・河北台中学校 11月14日 ・宇ノ気中学校 11月22日
- また、11月21日に高松中学校において、3年生によるまちづくりプラン提案事業（市長への提案）を実施し、「観光振興」「特産物開発・販売」「定住促進」「空き家対策」「子育て支援」「スポーツによるまちづくり」の6テーマを柱として、生徒たちの将来プランを市長に提案した。

### 【今後の方向性】

- 職場体験活動については、地域事業者の更なる協力、また、イオンモール・イオンリテールの協力を得ながら多種多様な職場を選択できるよう学校コーディネーターとも連携しながら実施に向けた検討を行い、夢や希望を持った子どもを一人でも多く育て、また、ふるさとに根ざして働く人々の姿に触れる体験的活動に取り組みたい。
- 将来を担う若者たちに勤労観、職業観を育み、自立できる能力をつけることを目的としたキャリア教育を推進することにより、働くことの大切さや、やりとげる達成感などを実感し、感謝する心が育まれる活動を進めていきます。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	小学校	71.4%	72.9%	66.7%	68.5%	67.4%	80.0%
	中学校	52.8%	54.7%	50.8%	49.8%	47.6%	60.0%
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒の割合	小学校	53.5%	55.4%	54.8%	54.9%	53.5%	70.0%
	中学校	32.6%	37.1%	35.9%	34.3%	36.3%	60.0%

### ③ 学校における体験活動や読書活動の推進

担当課 学校教育課

#### <取組内容・成果>

- ・児童生徒の読書習慣、読書意欲の向上はもちろんのこと、読書は学力にも大きな影響を与え、また、教職員の補助として教材等の準備など、教職員の求めに対応するため、継続して全小中学校に学校司書を1人ずつ配置した。

令和4年度全国学力調査・学習状況調査における読書と学力の関係（小学校6年）	児童数	児童数の割合	平均正答率		
			国語	算数	理科
読書が好きと回答	129人	48.1%	75.1	73.2	77.1
どちらかといえば、読書が好きと回答	82人	30.6%	67.6	65.6	69.9
どちらかといえば、読書が嫌いと回答	32人	11.9%	75.0	70.9	72.1
読書が嫌いと回答	25人	9.3%	61.1	62.5	60.2
どちらともいえない、欠席・無回答	0人	0%	—	—	—

\*全国学力調査・学習状況調査は未実施であるが、市独自で実施

令和4年度全国学力調査・学習状況調査における読書と学力の関係（中学校3年）	生徒数	生徒数の割合	平均正答率		
			国語	数学	理科
読書が好きと回答	130人	46.1%	78.2	60.4	57.6
どちらかといえば、読書が好きと回答	82人	29.1%	71.2	56.2	50.1
どちらかといえば、読書が嫌いと回答	42人	14.9%	69.7	55.6	48.0
読書が嫌いと回答	28人	9.9%	55.6	44.4	38.1
どちらともいえない、欠席・無回答	0人	0%	—	—	—

\*全国学力調査・学習状況調査は未実施であるが、市独自で実施

- ・すぐれた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図るほか、県内文化芸術の振興に資することを目的として児童・生徒を対象とした「芸術鑑賞推進事業」を実施した。
  - \*オーケストラ鑑賞（中学生対象）の開催 5月27日（金）河北台中学校講堂
  - \*スクールシアター（小学5年生対象）の開催 6月23日（木）河北台中学校講堂
  - \*かほく市小学校音楽会  
各学校で開催・撮影した作品を映像化し、各小学校やケーブルテレビで放映した。

#### 【今後の方向性】

- ・令和3年度までは新型コロナウイルス感染症の影響のため活動制限を余儀なくされたが、校外活動やコミュニティ・スクールにおいては、できる限り実施に向けた検討を行い、自然体験活動や集団活動、国際交流体験など、様々な体験活動の推進を図ります。
- ・読書は学力に大きな影響を与えており、全国的にも読書が好きな子供は学力が高いという結果が出ていることから、「かほく市子どもの読書活動推進計画」に基づき、児童生徒の読書習慣、読書意欲の向上、また、子供の自主的な読書活動の推進を図ります。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「学校の授業時間以外に1日当たり30分以上読書をする」と回答した児童生徒の割合（※）	小学校	45.1%	49.0%	—	35.7%	39.4%	50.0%
	中学校	31.0%	22.5%	—	23.4%	26.5%	35.0%

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

（※）基本的方向3-(2)③の数値目標と同様

## 基本的方向 1 - (3) 児童生徒の体力増進と運動能力の向上

### ① 学校における運動機会の充実

担当課		学校教育課																																				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県内の小学校が参加し、インターネットを通じて自分のクラスの順位を競い合う「スポチャレいしかわ」に全小学校が登録し、記録やランキングを上げる楽しさや運動そのものの楽しさ、また、仲間と取り組む楽しさを実感できるよう取り組んだ。 (表彰学級は以下の通り)  <table border="0"> <tr> <td>「ベスト部門」</td> <td>* スポチャレ・40m</td> <td>1年の部 3位</td> <td>七塚小学校 1年2組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>* スポチャレ・40m</td> <td>3年の部 3位</td> <td>高松小学校 3年1組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>* スポチャレ・シャトルボール</td> <td>5年の部 3位</td> <td>七塚小学校 5年1組</td> </tr> <tr> <td>「チャレンジ部門」</td> <td>* スポチャレ・8の字</td> <td>3年の部 4位</td> <td>七塚小学校 2年2組</td> </tr> </table> </li> <li>・第17回いしかわっ子駅伝交流大会に県内から男子58チーム、女子55チームが出場。かほく市からは、高松小学校、七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校が参加。前回大会は、高松小学校女子が2年ぶり4回目の優勝を飾ったが、今大会では、高松小学校男子が6年ぶり2回目の優勝に輝いた。また、男子記録会(5年生)では、森大晟君が1位となった。 (成績は以下の通り)  <table border="0"> <tr> <td>「男子の部」優勝</td> <td>高松小学校</td> <td>「女子の部」4位</td> <td>高松小学校</td> </tr> </table> </li> <li>・市内小学校6年生を対象とした小学生体育大会を3年ぶりに実施した。100m走、ジャベリックスロー、走り幅跳び、リレーの4種目を行った。 (実施初年度：平成26年度)</li> <li>・中学校においては、加賀地区中学校体育大会をはじめ、石川県中学校総合体育大会、石川県吹奏楽コンクール、北信越中学校総合競技大会、北陸吹奏楽コンクール及び全国中学校体育大会が、コロナ禍のため入場制限はあったものの、通常に近い形で開催された。 (主な成績)  <table border="0"> <tr> <td>北信越大会「剣道競技」:</td> <td>男子団体準優勝・女子団体優勝(宇ノ気中学校)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>女子個人第3位 高平佳奈・中農陽(宇ノ気中学校)</td> </tr> <tr> <td>「陸上競技」:</td> <td>女子1年100m第4位 能口心和(河北台中学校)</td> </tr> <tr> <td>北陸吹奏楽コンクール小編成部門銀賞</td> <td>河北台中学校</td> </tr> <tr> <td>全国中学校体育大会「剣道競技」:</td> <td>女子団体ベスト16(宇ノ気中学校)</td> </tr> </table> </li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校においては、今後も「スポチャレいしかわ」の種目に全小学校が学級ごとに登録し、記録やランキングを上げる楽しさ、運動そのものの楽しさ、仲間と取り組む楽しさを学ぶとともに、日常的に体力づくりに取り組んでいきます。</li> <li>・中学校については、今後の重要課題となる部活動地域移行を念頭に置き、まずは休日の部活動を地域に移行させるための取組を部活動の種目毎に実施しつつ、活動時間や休養日に関する取組をこれまでどおり進めるとともに、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、学校・地域と連携を図りながら運動機会の充実に取り組んでいきます。</li> </ul>									「ベスト部門」	* スポチャレ・40m	1年の部 3位	七塚小学校 1年2組		* スポチャレ・40m	3年の部 3位	高松小学校 3年1組		* スポチャレ・シャトルボール	5年の部 3位	七塚小学校 5年1組	「チャレンジ部門」	* スポチャレ・8の字	3年の部 4位	七塚小学校 2年2組	「男子の部」優勝	高松小学校	「女子の部」4位	高松小学校	北信越大会「剣道競技」:	男子団体準優勝・女子団体優勝(宇ノ気中学校)		女子個人第3位 高平佳奈・中農陽(宇ノ気中学校)	「陸上競技」:	女子1年100m第4位 能口心和(河北台中学校)	北陸吹奏楽コンクール小編成部門銀賞	河北台中学校	全国中学校体育大会「剣道競技」:	女子団体ベスト16(宇ノ気中学校)
「ベスト部門」	* スポチャレ・40m	1年の部 3位	七塚小学校 1年2組																																			
	* スポチャレ・40m	3年の部 3位	高松小学校 3年1組																																			
	* スポチャレ・シャトルボール	5年の部 3位	七塚小学校 5年1組																																			
「チャレンジ部門」	* スポチャレ・8の字	3年の部 4位	七塚小学校 2年2組																																			
「男子の部」優勝	高松小学校	「女子の部」4位	高松小学校																																			
北信越大会「剣道競技」:	男子団体準優勝・女子団体優勝(宇ノ気中学校)																																					
	女子個人第3位 高平佳奈・中農陽(宇ノ気中学校)																																					
「陸上競技」:	女子1年100m第4位 能口心和(河北台中学校)																																					
北陸吹奏楽コンクール小編成部門銀賞	河北台中学校																																					
全国中学校体育大会「剣道競技」:	女子団体ベスト16(宇ノ気中学校)																																					
数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)																															
全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好き」と回答した児童生徒の割合	小学校	男子	71.5%	70.9%	—	66.7%	75.0%																															
		女子	64.3%	61.2%	—	61.5%	65.0%																															
	中学校	男子	69.0%	63.1%	—	60.5%	70.0%																															
		女子	48.9%	48.9%	—	44.3%	50.0%																															

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## ② 健康づくり、体力向上をめざす教育の充実

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・体力・運動能力調査等の結果を踏まえ、児童生徒の体力向上及び健康の保持増進を図る取組として、各小中学校において「体力アップ1校1プラン」を実施し、体力向上に関する指標及び目標数値を示し、目標達成に向けたプランを実施した。

学校・プラン名	目標指標・数値
高松小学校 高松っ子体力アップ大作戦	・新体力テスト「長座体前屈」の数値記録を昨年度より上回る
大海小学校 みんなで楽しく走力アップ	・50m走において、県平均を越える。 ・スポチャレいしかわにおいて、全学級でブロンズを上回る。
七塚小学校 七塚げんきっず体力アップ計画 ～体力向上に向けて～	・本校の総合評価における「A群+B群を70%以上」をめざす。 ・本校の総合評価における「D群+E群を10%以下」をめざす。 ・「20mシャトルラン」「50m走」の項目について、平均値を上回る学年を増やす。
外日角小学校 パワーアップ! DASH&JUMP	・各学年男女ともに、8種目のうち5種目は、県平均を上回るようにする。 ・「50m走・立ち幅跳び」について、県平均と同等又は上回るようにする。 ・「ソフトボール投げ・20mシャトルラン」について、県平均を上回るようにする。
宇ノ気小学校 うのけっこ体力アッププロジェクト	・「ソフトボール投げ」において、各学年男女6グループのうち、3グループ以上が県の平均値を上回る。
金津小学校 金津跳力向上プラン	・12月の追跡調査で、立幅跳びの記録を全学年県平均以上の値にする。
高松中学校 高松中「有言実行」体力向上計画	・「長座体前屈」「立ち幅跳び」を重点種目と捉え、県平均を上回るように取り組む ・学年別総合評価人数のDE群を10%未満にする。
河北台中学校 心肺機能を高めよう	・20mシャトルランの計測において、全ての学年で県の平均と同等もしくは上回るようにする。
宇ノ気中学校 体力アップマイプラン (体力アップチャレンジ)	・50m走(秒) 男子1年 8.63 2年 7.96 3年 7.53 女子1年 9.16 2年 8.86 3年 8.75 ※令和3年度の県平均値を参考 ・AB群 65%以上、DE群 10%以下 ※令和3年度も本校の数値を参考

【今後の方向性】

- ・引き続き、全国体力・運動能力調査の結果を分析し、児童生徒の実態や学校の実情に即した「体力アップ1校1プラン」を推進するとともに、結果を活用した体育の授業や学校独自の取組を展開します。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
(数値目標追加) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (学校質問紙)で「学校の体育授業について、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校数	小学校	4校	5校	—	2校	3校	6校
	中学校	2校	2校	—	2校	2校	3校

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

### ③ 安全でおいしい給食の提供、食育の推進

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・栄養バランスを大切に、季節や旬、イベントなどを捉えた興味深い献立を年間通じて企画・提供を行った。今年度も毎月1回「ふるさと給食の日」として、旬の地場産物や地元産品を素材にした献立を年間通じて行った。また、小学校の一部で、「ふるさと給食について知ろう」をテーマに食育の授業を実施した。
- ・継続した食育の一環として、稲作体験、かほっくりの定植や収穫、紋平柿の収穫や脱渋などの農業体験を行った。また、米飯給食については、差額補填によって河北郡市産コシヒカリ一等米を提供した。
- ・食物アレルギーを持つ児童生徒は増加傾向にあり、十分な配慮を行うため、第1及び第2学校給食センターは、保護者や主治医、学校医とも連携を図り安全で安心できる学校給食を提供した。
- ・引き続き、学校司書とのコラボレーションで絵本に出てくる料理を学校給食として提供し、学校給食に対する関心を更に高めることができた。また、給食時には校内放送で絵本の紹介をした。

【今後の方向性】

- ・引き続き、地元食材・加工品の提供を推進し、関係機関と連携を図りながら地産地消を推進します。
- ・児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、小中学校における学習指導要領に基づき、各教科等を通じた食育を推進します。
- ・生産者を招いての給食試食会などの行事を通じて、食に感謝する機会を設けます。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
学校給食産地調査(11月調査)で、総食品数中の石川県産の食品数の割合	小学校	16.5%	—	—	35.4	30.0%
	中学校	21.6%	—	—	44.1	30.0%
学校給食産地調査(11月調査)で、総食品数中のかほく市産の食品数の割合	小学校	11.6%	—	—	30.3	25.0%
	中学校	20.7%	—	—	34.8	25.0%

※令和2年度、令和3年度の学校給食産地調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## 基本的方向 1－(4) 新しい時代の教育に向けた学校指導体制の整備

① 教職員の資質の向上と組織的な学校経営							
担当課		学校教育課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織の機能化や若手の成長に積極的に参画・貢献するために必要な資質の向上を図り、組織的な学校運営に必要なリーダー的人材の育成を目的に、校長の推薦する者（中堅教職員）を対象として市教職員ミドルリーダー研修会を実施した。教育長の講話、今日的課題をテーマとしたグループ協議と現教頭からの指導・助言により、リーダーとしての意識の向上に繋がった。</li> <li>・各学校において、計画的な校内研究や若手教職員に中堅・ベテラン教職員の経験や知識・スキルを継承させ、早期の人材育成を図るため、校内若手教育研修や面談を実施し、「組織的な学校経営」に資する研修を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が抱える諸課題に対して、組織的に解決していく力が更に高まるよう、リーダー的人材の育成を更に図っていきます。特に、若手リーダー育成のための研修会の外に現リーダーの資質向上を図るための懇談を実施していきます。 また、今後も「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、地域人材を積極的に活用し、児童生徒の深みのある学びにつなげます。</li> <li>・引き続き、校内若手教育研修の充実を図るとともに、学校内において実施されるOJTを通じて、日常的に学びあう校内研修の充実を図ります。また、学校や教職員の要望に応じて、専門性を有する人材や指導主事が学校に出向き、校内研修をサポートします。さらに、教育センターにおいても、例えば、特別支援の担当教職員と支援員が共に学べるような会にするなど、連携をより強化できるような研修会を継続実施していきます。</li> </ul>							
数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「教職員は、校外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校数	小学校	4校	2校	—	6校	—	6校
	中学校	2校	1校	—	3校	—	3校
コミュニティ・スクールの取組による小中学校への参画人数(登下校の見守り除く)(※)		1,774人	1,765人	1,614人	1,370人	1,702人	2,000人
<p>※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止 (※) 基本的方向 2-(3)①②の数値目標と同様</p>							

## ② 教育センターにおける時代の変化に対応した研修の実施

担 当 課

学校教育課(教育センター)

### <取組内容・成果>

- ・教職員研修については、参加する教職員の職務や研修の内容等に応じて、基本研修・指定研修・特別研修に体系化し、おおむね計画的に実施することができた。
- \* 基本研修（新任教職員研修会、初任者研修会） 2回  
かほく市の教育の現状とかほく市がめざす学校教育を理解することを目的とした新任教職員研修会のほか、ふるさとの歴史や文化・産業についての理解を深める初任者研修会を開催した。
- \* 指定研修（教務主任研修会ほか 11 研修会） 18 回  
教務主任、研究主任、生徒指導主事を対象とした主任等研修会のほか、教育相談員研修会、特別支援教育研修会、学校図書館教育研修会など、職務に関する教職員の資質向上を図るための研修会を開催し、学校教育の向上に寄与することができた
- \* 特別研修（教科研修会、不登校問題対応研修ほか 6 研修会） 12 回  
令和4年度かほく市教育目標（重点目標）や今日的な教育課題に関する研修として、教科研修会（国語・社会・英語）、不登校問題対応研修会、健康・体力向上研修会、G I G Aスクール対応研修会、ミドルリーダー研修会を開催した。講義やグループ協議を通して現状の把握や今後の指導改善に資することができた。

### 【今後の方向性】

- ・かほく市教育目標（重点目標）の実現や今日的な教育課題に対応するため、小中連携を大切にした教職員の授業力や特別支援教育、いじめ・不登校等の研修を充実します。  
\* 教科研修会（算・数／理）、特別支援教育研修会、不登校問題対応研修会、G I G Aスクール対応研修会、ミドルリーダー研修会など
- ・教職員の多忙化改善に配慮しながら、県費負担教職員の研修を精選・充実するとともに、特別支援教育支援員、学校司書、英語アシスタント、教育相談員などの市費配置職員（会計年度任用職員）の資質・能力を育成する研修会を充実します。
- ・市学校教育研究会と連携し、「小小」・「中中」及び「小中」連携を大切にした研修会を充実させ、教職員の資質・能力の育成を図ります。
- ・令和5年度からの「石川県教員育成指標（令和4年12月改訂）」に基づく研修体制への移行に伴い、市の研修体制及び研修内容の見直しを図ります。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
時代の変化に対応した教職員研修の開催回数 (授業力向上研修・不登校問題対応研修・特別支援教育研修)	9 回	10 回	8 回	11 回	10 回	12 回
教員の多忙化に配慮した教職員研修の開催回数	28 回	28 回	21 回	23 回	28 回	20 回

### ③ 教職員の働き方改革の推進

担当課

学校教育課

#### <取組内容・成果>

- ・学校現場における教職員の業務負担の軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフを3人、部活動指導員を3人増員した。
- ・市教育委員会主催の教職員研修、市指定研究校のあり方、部活動の活動時間、教育委員会による学校訪問についても、教職員の負担が軽減されるよう、内容等を含め継続して見直しを図った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特に中学校において月80時間を超える人数の減少傾向が続いている。教職員の意識が高まり、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の増員についても成果として数値に現れている。
- ・時間外勤務時間の多い教員との面談を通じて、時間外が多くなる要因や改善策を共に考えていったところ、その時間数の減少がみられた。

かほく市立学校教職員の時間外勤務状況結果

小学校		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和 元年度	時間外勤務 80 時間超	29	23	25	14	0	13	20	12	2	1	3	2
	調査対象教職員数	123	123	122	122	122	122	124	124	124	123	124	122
令和 2年度	時間外勤務 80 時間超	2	0	8	4	0	5	5	5	0	0	3	5
	調査対象教職員数	121	122	122	122	123	123	123	123	123	123	123	123
令和 3年度	時間外勤務 80 時間超	14	9	8	0	0	2	5	1	1	0	2	0
	調査対象教職員数	123	123	123	123	123	123	122	122	122	122	123	123
令和 4年度	時間外勤務 80 時間超	5	3	9	0	0	4	3	2	1	0	1	1
	調査対象教職員数	129	131	128	129	126	128	128	128	128	127	129	129

中学校		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和 元年度	時間外勤務 80 時間超	40	41	40	31	6	40	37	32	23	22	24	0
	調査対象教職員数	69	69	69	69	69	70	70	70	70	70	70	70
令和 2年度	時間外勤務 80 時間超	0	0	32	32	15	30	35	21	18	9	12	16
	調査対象教職員数	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	67
令和 3年度	時間外勤務 80 時間超	30	28	30	25	0	21	27	18	10	7	1	4
	調査対象教職員数	71	71	71	71	71	71	70	70	70	70	70	70
令和 4年度	時間外勤務 80 時間超	35	20	33	22	0	27	24	12	4	1	3	2
	調査対象教職員数	69	69	69	69	69	68	68	68	67	67	67	67

\* 令和2年3月から5月までについては、新型コロナウイルス感染症の影響のため学校臨時休業

\* 令和2年8月については、新型コロナウイルス感染症の影響のため夏季休業が短縮

#### \* スクール・サポート・スタッフ配置数

令和2年度 2人（宇ノ気小・宇ノ気中 各1人）

令和3年度 4人（宇ノ気小・高松中・河北台中・宇ノ気中 各1人）

令和4年度 7人（高松小・七塚小・外日角小・宇ノ気小・高松中・河北台中・宇ノ気中 各1人）

#### \* 部活動指導員配置数

令和2年度 3人（高松中1人・河北台中1人・宇ノ気中1人）

令和3年度 6人（高松中1人・河北台中3人・宇ノ気中2人）

令和4年度 9人（高松中2人・河北台中3人・宇ノ気中4人）

#### 【今後の方向性】

- ・引き続き、長時間勤務を止むなしとするこれまでの働き方を見直し、限られた時間の中で専門性を活かし教職員の本務である教材研究や子供と向き合う時間を十分に確保するという観点に立った意識改革を進めます。
- ・これまでの統一的取組である部活動の活動時間又は休養日、リフレッシュウィーク、定時退庁日などの取組を示した「かほく市立学校教職員多忙化改善方針」の徹底を図ります。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
時間外勤務が月80 時間超の教職員数 (年間延べ人数)	小学校	236人	144人	37人	42人	29人	0人
	中学校	479人	336人	229人	201人	183人	0人

## 基本的方向 1 - (5) 多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援

### ① 特別支援教育の充実

担当課 学校教育課

<取組内容・成果>

- ・特別に配慮の必要な児童にきめ細かに対応するため、特別支援教育支援員を小学校全校に配置し、学習活動の円滑な運営の支援を行った。

	小学校配置人数	中学校配置人数	計
平成 25 年度	8 人	2 人	10 人
平成 26 年度	9 人	1 人	10 人
平成 27 年度	9 人	1 人	10 人
平成 28 年度	11 人	1 人	12 人
平成 29 年度	13 人	2 人	15 人
平成 30 年度	13 人	2 人	15 人
令和元年度	14 人	3 人	17 人
令和 2 年度	14 人	3 人	17 人
令和 3 年度	17 人	0 人	17 人
令和 4 年度	17 人	0 人	17 人

- ・小学校の通常学級に在籍している児童の中で、言語発達遅滞を中心として何らかの個別支援を必要としている児童のために、通級指導教室「ことばの教室」を宇ノ気小学校に2学級設置して専門的な支援を行った。
- ・個別支援が適切に行えるように、特別支援教育コーディネーターを中心とし、かほく市共通個別支援シートの活用を推進した。
- ・子ども発達相談支援センター（健康福祉課）の精神保健福祉士と学校教育課職員が保育園や学校を巡回し、情報の共有を図り、その対応についての方向性を確認した。

【今後の方向性】

- ・引き続き、支援員の一層の資質向上をめざし、随時研修会を実施していきます。
- ・就学前の早期発見や適切な支援が行われるよう、子ども総合センター（こども家庭課）、子ども発達相談支援センター（健康福祉課）、学校教育課の連携を促進し、巡回指導や情報の共有を図ることで、よりきめ細かな対応を展開していきます。
- ・障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向けた取組、また、障がいのない子供と共に活動し学びあう交流及び共同学習の推進を図ります。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「学校の教員は、特別支援教育について理解し、児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫をよく行った」と回答した学校数	小学校	4校	—	5校	3校	6校
	中学校	2校	—	3校	2校	3校

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## ② いじめ等への対応の徹底

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・平成 27 年度から小中学校全児童生徒の心の変化を観察するため Q U 調査を実施していたが、令和 3 年度から年 1 回実施する総合質問紙調査（i—c h e c k）に変更して、指導改善や学級経営・生活指導の指針づくりに役立っている。
- ・日常生活やいじめアンケート等でいじめを発見した場合は、各校設置の「いじめ問題対策チーム」が中心となり迅速な対応に努めるとともに、いじめの未然防止についても各校において積極的な取組によって意識が高まってきている。

【かほく市共通アンケート調査：保護者アンケート】

- ・数値目標としている①「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う（児童生徒）」②「学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか。（保護者）」について、7 月と 12 月に調査を行い、各校のいじめ防止に対する指導に効果的に活用することができた。

① 7 月調査 小学生 91.4% 中学生 91.2%      ② 7 月調査 小学生 26.6% 中学生 19.9%  
 12 月調査 小学生 92.0% 中学生 89.9%      12 月調査 小学生 26.3% 中学生 19.7%

【今後の方向性】

- ・「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を児童生徒に徹底させるとともに、各学校におけるいじめの解消に向け、いじめの認知と情報共有を今後も続けていきます。
- ・児童生徒自身が「いじめを許さない」と考えられるよう児童会や生徒会活動を通して、リーダーを中心に各児童生徒が活躍できる機会を意図的に設け、児童生徒の自己有用感を高めていくような取組を実施していく。
- ・学生等とタイアップしホームルームなどの時間において身近な話題の共有や話し相手、また、学習支援を実施し、自己存在感や充実感を感じられる「居場所づくり」を提供できるようめざします。
- ・学校だよりや生徒指導だより、ホームページ等を通して保護者にも「いじめの未然防止に対する取組」が伝わるよう積極的な啓発活動に努め、安心・安全な学校経営をめざします（かほく市共通アンケートで実態調査を継続）。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	89.7%	92.9%	93.0%	92.3%	91.4%	100.0%
	中学校	87.2%	87.6%	88.6%	91.0%	91.2%	100.0%
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「学校における、いじめの未然防止のための取組が伝わってくる」と回答した保護者の割合	小学校	20.4%	20.8%	24.6%	24.0%	26.6%	50.0%
	中学校	18.2%	18.2%	18.8%	19.0%	19.9%	50.0%

### ③ 不登校児童生徒等への自立支援

担当課	学校教育課(教育センター)
-----	---------------

#### <取組内容・成果>

- ・不登校児童生徒数は、発達障害や家庭環境による不登校、小学生の不登校が大きく増加している。また、学校や教育支援センター「すまいる」のどちらにも来ることができない児童生徒もおり、その対応や支援が求められる。
- ・不登校については、不登校児童生徒及びその保護者へのきめ細かな支援を進めるとともに、未然防止や早期発見・早期対応の取組が必要である。各学校では、令和2年度から中学校に配置した教育相談員（3人）、スクールカウンセラーの活用や関係機関と連携した支援に努めている。
- ・教育センターでは、各学校の生徒指導主事や教育相談担当を対象とした不登校や特別支援教育、教育相談に関する研修会を実施した。
- ・教育支援センター「すまいる」では、通室生への日々の学習・生活支援をはじめ、保護者への働きかけとして、送迎時や電話での連絡を密にし、保護者会（7・11月）を開催した。また、教育相談員や各学校の担当者と連携・協力し、通室生や不登校（傾向）児童生徒へのきめ細かな支援を行った。

#### ◇かほく市における不登校の児童生徒の推移 (人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成25年度	31	31	33	33	—	36	35	36	36	35	37	38
平成26年度	28	33	38	40	—	43	46	47	48	48	50	50
平成27年度	25	27	31	32	—	38	43	45	46	47	46	45
平成28年度	25	31	35	37	—	39	42	45	46	46	48	48
平成29年度	30	33	35	36	—	33	34	34	34	35	35	34
平成30年度	24	30	36	32	—	34	38	45	47	48	55	52
令和元年度	31	35	41	42	—	46	45	48	50	48	50	—
令和2年度	—	—	52	59	60	60	62	67	68	73	67	69
令和3年度	38	39	48	50	—	57	61	58	57	64	70	66
令和4年度	50	58	66	68	—	74	83	94	93	97	103	106

\* 令和2年3月から5月まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため学校臨時休業

#### 【今後の方向性】

- ・教育支援センター「すまいる」と中学校に配置した教育相談員や学校の担当者との連携をより一層強化し、不登校児童生徒や保護者へのきめ細かな支援を推進します。小学校の不登校が増加している現状を踏まえ、教育相談員（中学校配置）が校区の小学校へ定期的・継続的に訪問し、不登校の未然防止や早期対応、小中連携した支援の充実に努めます。
- ・不登校児童生徒に対しては、面談や電話、家庭訪問などでの声かけや、オンラインによる学習・生活支援など、学校復帰や社会的自立に向けた支援を推進します。また、校長を中心とした組織的・機能的な支援体制を構築し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをはじめ、福祉・医療機関等の関係機関と連携した支援の充実に努めます。
- ・教育センターでは、引き続き、不登校や特別支援教育、教育相談等に関する研修会を実施し、教職員の不登校に対する理解や対応する資質・能力の育成を図ります。
- ・県立看護大生の学習支援ボランティアを中学校や「すまいる」へ派遣要請し、相談室登校の生徒や通室生に対する学習・生活支援を充実します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
教育支援センター「すまいる」に通う 中学3年生の進路等の確定状況	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### ④ 教育相談体制の充実

担 当 課

学校教育課(教育センター)

##### <取組内容・成果>

- ・教育センターへの教育相談件数は、前年度とほぼ同数であるが、小学生の保護者からの相談が大きく増加している。また、教育相談の内容は、不登校に関する学習や進路、友人関係など学校生活に関わる様々な相談や子供との関わり方など多岐にわたっている。
- ・相談体制の強化を図るため、令和2年度から教育支援センター「すまいる」に2人、各中学校に1人ずつ教育相談員を配置し、相談体制の充実を図った。各学校では、教育相談員やスクールカウンセラーを活用した教育相談や子ども総合センターや児童相談所等の関係機関と連携した教育相談など、きめ細かな教育相談を進めている。
- ・教育センターでは、「教育相談のご案内」という広報紙を児童生徒の全家庭に配布し、ホームページにも教育相談の案内を行っている。
- ・月1回(第4木曜日)、教育センターのカウンセラーとして、児童生徒の臨床心理に関して高度な知識を有する臨床心理士による教育相談を実施している。

##### ◇教育センターにおける相談件数

年度	来所相談	訪問相談	電話相談
平成25年度	31	8	57
平成26年度	46	7	23
平成27年度	50	9	17
平成28年度	60	9	19
平成29年度	34	10	6
平成30年度	130	4	19
令和元年度	177	15	18
令和2年度	311(※)	64(※)	748(※)
令和3年度	153(※)	43(※)	282(※)
令和4年度	153(※)	33(※)	319(※)

※令和2年度からは中学校教育相談員への連絡・相談件数も含む。

##### 【今後の方向性】

- ・教育センターでは、来所、訪問、電話による相談を行っているが、教育相談の案内を増やしたり、メールや手紙など、相談方法の多様化を進めたりするなど、気軽に相談しやすい環境を整えます。また、中学校に配置した教育相談員を中心に、校区の小学校を含め、不登校生や保護者との連絡や相談、教育支援センター「すまいる」と学校の連携の強化など、教育相談体制の更なる充実を図ります。
- ・不登校児童生徒が年々増加しており、その原因も多様化している。引き続き、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、医療機関等との連携を強化し、適切な支援や対応に努めます。
- ・教育相談に適切に対応し、きめ細かな支援ができるように、教育相談員の資質・能力の向上に向けた研修会を計画的に実施していきます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
教育センターへの来所相談、 訪問相談、電話相談の件数	50件	210件	1,123件 (※)	478件 (※)	505件 (※)	90件

※令和2年度からは中学校教育相談員への連絡・相談件数も含む。

## ⑤ 経済的な理由による子供たちの就学支援

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・高等学校及び高等専門学校に進学又は在学する生徒で、成績が優秀にして、かつ経済的理由により修学が困難な者に対して、修学上必要な学資金として月額8,000円を支給した。

〈奨学資金支給の推移〉

年度	出願者数	奨学金支給者数
平成25年度	19	13
平成26年度	24	15
平成27年度	26	15
平成28年度	32	15
平成29年度	16	10
平成30年度	12	11
令和元年度	13	10
令和2年度	17	15
令和3年度	15	10
令和4年度	19	14

- ・就学援助費について、これまでも家庭の経済格差が教育機会の格差を生まないうよう、毎年、社会情勢や国の「要保護児童生徒の就学援助の支給基準」を参考に支給額を決定している。

〈要保護・準要保護児童・生徒就学援助費認定件数の推移〉

年度	小学校	中学校	計
平成25年度	187	135	322
平成26年度	206	139	345
平成27年度	167	101	268
平成28年度	174	98	272
平成29年度	184	111	295
平成30年度	176	112	288
令和元年度	173	104	277
令和2年度	191	104	295
令和3年度	190	108	298
令和4年度	182	102	284

【今後の方向性】

- ・引き続き、奨学金制度や就学援助費について、保護者への周知を図り、漏れのない支給を行うことにより児童・生徒が安心して学べる教育環境を支援します。

## 基本的方向 1－(6) 安心して学べる教育環境の整備・充実

① 学校施設の長寿命化の推進						
担当課	学校教育課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校2校（宇ノ気小学校、大海小学校）と全中学校（高松中学校、河北台中学校、宇ノ気中学校）のトイレ洋式化工事を実施し、全小中学校のトイレ洋式化（100%）を図った。</li> <li>・校舎のバリアフリー化を図るため、宇ノ気小学校にエレベーターを整備した。</li> <li>・小学校の遊具について専門業者による点検を実施し、不具合のあった遊具の修繕又は更新を行い、安全で安心できる学校施設の確保に努めた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・給食センター施設の定期的な点検を継続して実施し、施設の状態を把握するとともに、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、予防的な対策を実施し、施設の管理水準の維持に努めます。</li> <li>・維持管理手法を「事後保全」から「予防保全」にシフトするとともに、計画的に大規模な改修工事を実施し、学校施設の長寿命化を図ります。</li> </ul>						
数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
「学校施設長寿命化計画（個別計画）」 の策定済学校数	0校	9校	9校	9校	9校	9校

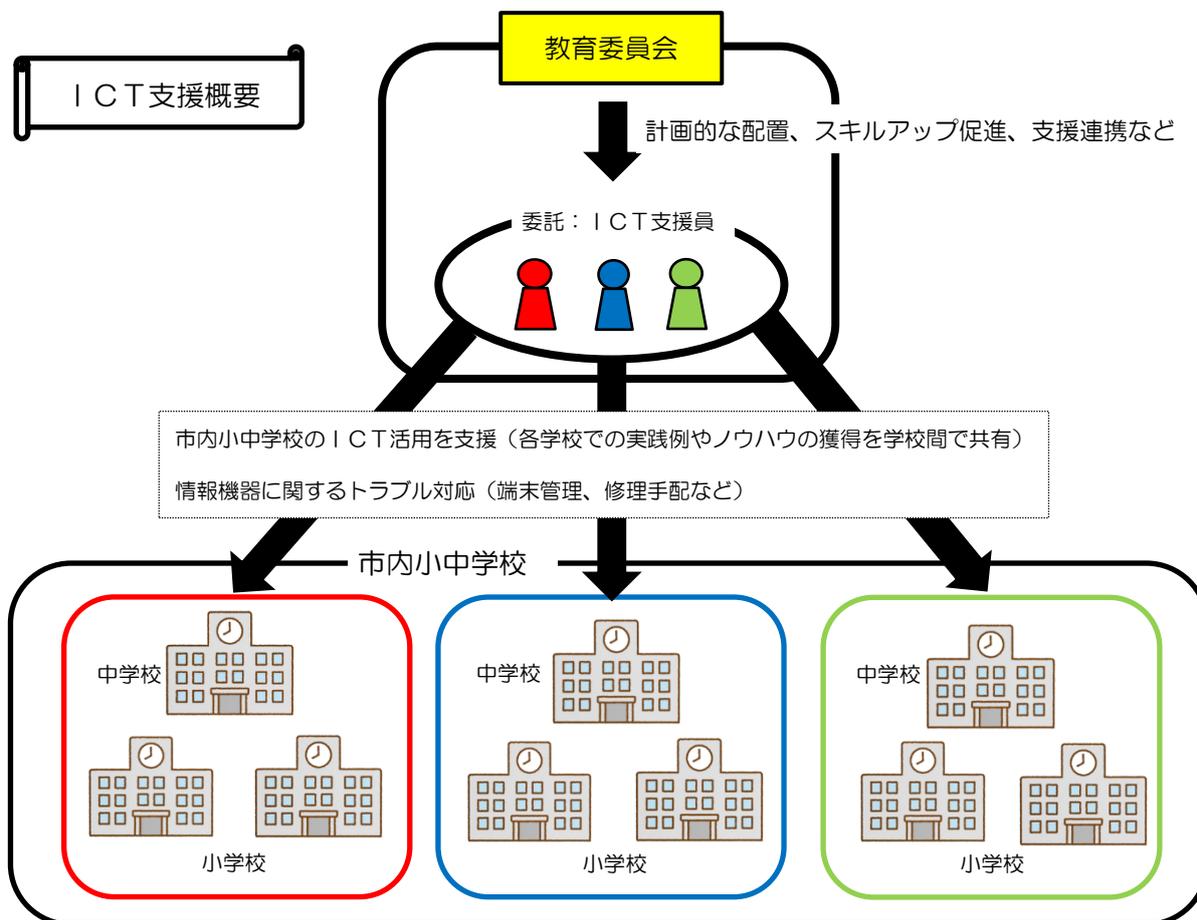
## ② 新たな学びを実現するICT環境等の整備

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・国の補助事業を活用し整備した児童生徒1人1台端末を有効に活用するため、引き続きICT支援員を配置した。 ※下図参照
- ・教職員の負担軽減を図るため、統合型校務支援システムを導入し、令和4年度から本格稼働を行った。
- ・学校と保護者間連絡システム「コドモン」を導入し、欠席連絡・お知らせ配信等に活用した。



【今後の方向性】

- ・学校内における教職員の様々な場面でのICT活用におけるサポートや端末に関するトラブル対応など、教職員が授業等をスムーズに行えるようICT支援員を効率よく機能させるとともに、教職員のICT活用力の向上を図ります。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
「普通教室」「特別教室」の無線LAN整備済学校数	小学校	0校	1校	6校	6校	6校	6校
	中学校	0校	0校	3校	3校	3校	3校
3クラスに1クラス分の児童・生徒用コンピュータ整備済学校数	小学校	0校	0校	6校	6校	6校	6校
	中学校	0校	0校	3校	3校	3校	3校

### ③ 通学路の安全対策と安全・防災教育の充実

担当課

学校教育課

#### <取組内容・成果>

- ・各小中学校において、地域住民やPTA、見守り隊等の協力により、登下校における児童・生徒の安全確保が図られた。
- ・各小中学校において、避難訓練を実施した。さらに、県民一斉防災訓練「シェイクアウトいしかわ」による地震の際の初動対応である「しゃがむ」「隠れる」「じっとする」といった安全行動についても取り組み、自分の身は自分で守るという意識を醸成することができた。
- ・通学路の危険箇所について関係機関（道路管理者、警察等）を交え幹事会（令和5年2月8日）を実施し、対応策等の検討を行った。

#### 【学校施設における新型コロナウイルス感染症対応】

○「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準を定め、感染症対策を実施した。

- ・身体的距離の確保
- ・児童生徒の健康管理（検温、換気、手洗い、消毒）
- ・感染リスクの高い学習指導の制限
- ・学校行事の内容見直し・中止など

○感染症対策のための保健衛生用品（熱中症対策含む）等の購入を実施した。

#### 【今後の方向性】

- ・引き続き、「かほく市通学路交通安全プログラム」に基づき、毎年実施する学校による安全点検のほか、隔年で実施する関係機関と通学路の合同点検の実施や点検結果による具体的な対策の検討、対策後の効果を検証するとともに、地域の実情に見あった対策の改善をPDCAサイクルとして実践し、通学路の安全向上を図ります。また、近年、全国的に住宅地まで出没し、危害を加える鳥獣（クマ、イノシシ等）に対しては、出没情報の収集、伝達を速やかに行うとともに、鳥獣に対しての正しい知識を身につけることで子供たちの被害防止に努めます。
- ・様々な自然災害や交通事故、犯罪等の状況を踏まえ、児童生徒等を取り巻く多様な危険を的確に捉え、児童生徒の発達段階や地域特性に応じた質の高い安全・防災教育の取組を、地域や関係機関とも連携・協働しながら引き続き推進します。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
安全教育・交通安全教室を開催している学校数	小学校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	中学校	3校	3校	3校	3校	3校	3校

## 基本的方向 2 - (1) 家庭の教育力の向上

### ① 親学びへの支援と家庭教育に関する学習の推進

担 当 課

生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・あいさつ励行と交通ルール指導のため、9月21日から30日までの7日間、「かほく市グッドマナーキャンペーン」を展開した。教育振興会、社会教育委員、民生・児童委員、市職員242人がキャンペーンに参加したほか、市内各小中学校においても、教職員、児童生徒、保護者等が取り組んだ。
- ・家庭教育の一環として、成長期及び就学における睡眠と食事の大切さについて親子で学んでもらうための「より良い生活習慣を定着させる取組」として、「早寝・早起き・朝ごはん」運動を継続実施しており、令和4年度は、「朝食を毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が、令和5年度の目標値には達しないものの、高い割合となっている。

(「早寝・早起き・朝ごはん」運動実施内容)

- \* かほく市PTA連合会の基本方針の1つに掲げ、PTA活動内でも推進
- \* 幼稚園・こども園児へ「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進するため、「げんきいっぱいカード」を市内幼稚園・こども園へ配布



市内幼稚園・こども園へ配布した「げんきいっぱいカード」

【今後の方向性】

- ・幼稚園、こども園、小学校に対して、生活リズムの大切さ、適切な食習慣の習得のために周知活動を行います。この習慣を定着させるためには継続が重要なため、引き続き、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を図ります。また、この効果を表すデータ等を示し、家族みんなで取り組むように学校と連携し推進します。
- ・学校との十分な情報共有、調整を図り、効果的な取組として継続するよう各種運動を実施します。
- ・子育て関連の題材にも取り組み、家庭での教育について話し合いをすることで得られる気づきの機会を増やします。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査(7月調査)で「朝食は毎日食べる」と回答した児童生徒の割合	小学校	86.6%	88.1%	86.6%	86.0%	86.2%	90.0%
	中学校	84.3%	84.9%	84.3%	87.1%	86.7%	90.0%



### ③ インターネット社会に対応する力の向上

担 当 課

生涯学習課

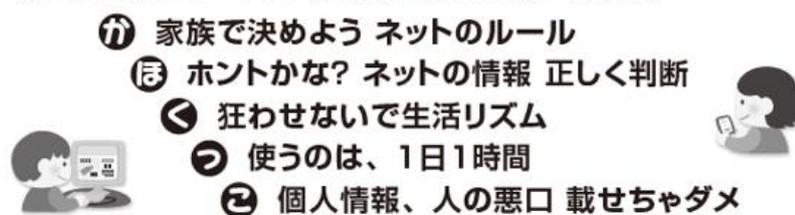
＜取組内容・成果＞

- ・令和2年2月に市PTA連合会や市小中学校長会との協力により策定した「かほく市ネットルール共同宣言」を少年愛護センター機関紙「ふれ愛」に掲載し、全戸配布した。
- ・家庭における非行・被害防止を目的とした家庭教育力の向上を図るため、各小中学校において、児童・生徒の保護者等を対象とした講座を実施した。家庭におけるインターネット利用が進んでおり、アンケート調査では中学生のSNSやインターネットなどを行っている時間数が1時間未満と回答した率が年々低下している。
- ・青少年健全育成に関する啓発活動を継続実施した。
  - \* 機関紙「ふれ愛」発行（全戸配布）
  - \* 各小中学校において「非行・被害防止講座」を保護者対象に実施

#### ～ 安全にインターネットを利用するためのルール ～

市内3中学校の生徒会が定めたルールを基に、市PTA連合会や市小中学校長会との協力により「かほく市ネットルール共同宣言」を令和2年2月に策定しています。

「かほくっこ」の頭文字を使った5項目は、小中学校の全児童生徒が安全にインターネットを利用するためのルールです。



機関紙「ふれ愛」より（令和5年3月発行）

【今後の方向性】

- ・青少年による窃盗等の犯罪行為や飲酒、喫煙、深夜徘徊等の不良行為については減少傾向にあるものの、スマートフォン等の浸透により通信端末の普及が進んでいるため、インターネット犯罪に巻き込まれる可能性が高まっていることから、危険性に対する啓発を重点的に実施します。
- ・近年におけるスマートフォン等を用いた小中学生のインターネット利用率が年々高くなってきている中、小中学校では1人1台のタブレット端末が配備され、今後も利用率が更に増えることが予想されるため、学校と家庭が連携し児童生徒だけではなく、児童生徒と保護者へのスマートフォンやタブレット等の情報機器の利用に関する注意喚起や研修等を実施することにより、家庭における青少年の健全育成を支援します。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査 (7月調査)で、「平日、メールやライン等のSNSやインターネット等を行っている時間数が1時間未満」と回答した児童生徒の割合(※)	小学校	43.2%	53.3%	49.6%	50.4%	44.5%	80.0%
	中学校	50.0%	38.1%	31.5%	29.9%	27.0%	80.0%

(※) 基本的方向1-(1)③の数値目標と同様

## 基本的方向 2 - (2) 社会教育の活性化による地域教育力の向上

① 地域に活力を与える人材の育成						
担当課		生涯学習課				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会教育活動活性化への取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域づくり補助金 公民館活動を対象 15 公民館 交付額 2,208 千円</li> <li>○地域活動補助金 地域活性化を目的とした活動の立ち上げが対象 実績なし</li> </ul> </li> <li>・ I T - C A T S かほく推進協議会（かほく市 I o T 推進ラボ）の取組 情報技術の発展や産業・社会構造の変化に対応する力を身につけ、未来をリードする人材育成のためプログラミング教育を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎教室 3 種類の教材を使用した全 9 コース。4 半期ごとに実施。小学生・中学生が対象。 延べ 174 人参加。</li> <li>○K - L a b（ケーラボ） プログラミングの基礎等を修了し、より学びたい小学 4 年生以上を対象にプログラミング、ものづくりを楽しむ場として開設した。同じ教材を活用する企業や高専を見学した。 令和 3 年 6 月開設。毎週水曜 17:00~19:00、第 1・3 土曜 13:30~15:30 令和 4 年度 75 回実施 延べ 585 人参加</li> </ul> </li> <li>・若い世代が集まり話し合いや交流ができる場づくり 「てつがくカフェ」身近なテーマで対話、2 回実施。延べ 19 人参加</li> <li>・子ども会の「ぼうさい探検隊マップ」の作成において、地区の見守り隊と連携し地域での取組を学ぶ機会を持った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育団体の協働を支援し、同じ地域の住民同士の交流を促します。</li> <li>・K - L a b では、引き続き企業・高専・大学の見学を実施するとともに、新しい教材や技術をテーマについて学習する機会を作り、参加者の興味関心の範囲を広げ、未来をリードする人材育成に努めます。</li> </ul>						
数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
人材育成につながる講座への参加者数 (延べ数)	25 人	38 人	8 人	15 人	19 人	100 人
プログラミング関係教室の参加者数 (延べ数)	208 人	276 人	334 人	540 人	759 人	300 人

## ② 社会教育団体の再興と活性化

担 当 課

生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・地域づくり補助金の交付 予算 3,000 千円 交付額 2,208 千円（15 公民館）

【今後の方向性】

- ・各社会教育団体が互いの活動の特徴を合わせ、より充実した活動となるよう支援し、社会教育活動の再興を進めます。
- ・社会教育団体の活動内容について、SNSで発信し市民へ周知します。

## ③ 連携と協働による社会教育の推進

担 当 課

生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・地区公民館の差異の整理と施設の位置づけとあり方の再検討として、令和2年度に社会教育委員会議へ諮問を行った「公民館を核とした社会教育活動の活性化」について、令和4年度も引き続き委員会で審議を進めた。

【今後の方向性】

- ・出前講座と共に「金沢大学市・町共催公開講座」についても、町会・区や公民館、各社会教育団体に周知します。
- ・I T - C A T S かほく推進協議は、児童生徒が新しい技術や知識を学ぶことで興味関心の範囲を広げ、将来に向けて広く深く学習する意欲を持たせるため、高専・大学・企業と連携し学習する機会をつくれます。
- ・公民館の活動について地域ごとの管理運営体制や、活動の状況を整理し、社会教育委員会議において今後のあり方を検討した内容も踏まえ、活性化に向けて具体的な取組を進めます。
- ・社会教育団体や他部署の関係団体と子供たちの成長、自立を支援する活動を実施します。

## 基本的方向 2 - (3) 学校を核とした家庭・地域との連携の強化

① 学校を核とした活動の充実						
担当課		生涯学習課				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の開催 各学校 年3～4回</li> <li>・かほく市コミュニティ・スクールプランの実施 補助金交付 予算4,500千円 交付額4,135千円</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響でゲストティーチャーやボランティアなど外部人材の活用機会が減少している。</li> <li>・コミュニティ・スクールの先進事例から今後の方向性を見出すため「かほく市コミュニティ・スクールシンポジウム」を実施した。学校運営協議会委員、校長等教職員が参加し、学校と地域の関係性や子どもたちの学びの環境等について意見交換を行った。</li> <li>・学習成果を地域と共有し地域の活性化に一役買うような活動が見られた。 高松中学校の美術の粘土で作った和菓子のデザインを地元の和菓子屋で商品化した。</li> <li>・地区公民館の文化祭に小学生の作品展示を行った。</li> <li>・外日角小学校では外日角地区の祭礼に関する話や白尾の灯台に関する歴史と役割などを地域住民から学んだ。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校コーディネーターと地区公民館とが互いの活動内容について情報を共有し、地域での行事案内や事業報告を校内に掲示し、児童生徒が直接知ることによって地域活動に興味、関心を持つよう促します。</li> <li>・学校での学習をきっかけに地域活動への参加を促すことで実践的な体験活動になるように進めます（七塚小学校4年生：SDGsに関する環境についての学習の後、市の海浜清掃に参加するなど）。</li> <li>・中学校部活動の地域移行に伴う生徒の運動離れが増加することを想定し、学校施設を活用した地域主体の放課後のスポーツ体験会を試験的に実施します（河北台中学校）。</li> <li>・家庭と地域の結び付きを意識した活動を実施し、学校・家庭・地域が子供たちの成長を共に見守る体制づくりを行います。</li> </ul>						
数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
コミュニティ・スクールの取組による小中学校への参画人数(登下校の見守り除く)(※)	1,774人	1,765人	1,614人	1,370人	1,702人	2,000人
(※) 基本的方向 1-(4)①、基本的方向 2-(3)②の数値目標と同様						

## ② 「支援」から「連携・協働」へとつながる意識の醸成

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・ 中学校で市政について学習の後、より住みよいかほく市となるための施策の提案を実施した。高松中学校3年生が6つのテーマ（①定住促進 ②子育て支援 ③観光振興 ④スポーツによるまちづくり⑤空き家対策 ⑥特産品の開発）について市職員と学習を進め、住みたいと思うまちづくりプランを作成し、市長に提案した。

### 【今後の方向性】

- ・ 地域について学ぶだけではなく、児童生徒が自分たちで考え提案する機会をつくり、より実践的な学びにつなげるために、学校コーディネーターと公民館長や単位子ども会とそれぞれの学習内容や成果を情報交換します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
コミュニティ・スクールの取組による小中学校への参画人数(登下校の見守り除)(※)	1,774 人	1,765 人	1,614 人	1,370 人	1,702 人	2,000 人

(※) 基本的方向 1-(4)①、基本的方向 2-(3)①の数値目標と同様

## ③ 地域課題解決のための多世代が関わる体制づくり

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・ 生涯学習を推進している各種社会教育団体に対し、活動の活性化に必要な事務支援・補助を行った。
- ・ 子ども会のぼうさいマップの作成の際に、地域の防災活動や登下校の見守り活動、防犯活動について地域の方々と学習し、多世代で地域の防犯防災活動について考える機会を作った。
- ・ I T-C A T SかほくのK-L a bで、「塩麴の温度変化の異常を知らせる装置」「野良猫捕獲を知らせる装置」などを試作した。

### 【今後の方向性】

- ・ 公民館を活用し、複数の社会教育団体の交流を提案・支援することで、同じ地域の住民同士の交流を促します。
- ・ 地域で学ぶ場を増やすことで、住民同士の交流の機会を作り地域の活性化につなげます。
- ・ 子ども会と同じ地区の住民・団体が協力しあい、実際に起きた災害について学ぶことで、地域の防災について考えるきっかけ作りをします。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
公民館と地域コミュニティ施設において、多世代の住民が交流する講座、教室等の開催回数	—	15 回	19 回	33 回	43 回	55 回

## 基本的方向3－(1) 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

### ① 「学び」を活かす機会と活動の充実

担当課

生涯学習課

#### <取組内容・成果>

- ・市民の生涯学習活動の成果を発表する機会として開催している生涯学習フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施した。

期 間： 10月29日（土）・30日（日）  
 会 場： 河北台中学校、河北台健民体育館  
 内 容： 表彰式、芸能発表会、各種展示会、フリーマーケット、模擬店、体験コーナー  
 ※記念講演会：東ちづる氏『誰も排除しない「まぜこぜの社会」をめざして』



「生涯学習フェスティバル」チラシ

生涯学習フェスティバルの様子（広報12月号）

- ・市民大学校では、かほく市の歴史・文化を題材とした一般教養コースとして5回開催し、計217人が参加、参加者の5割以上が60歳以上であり高齢者の参加率が高い結果となった。

#### 【今後の方向性】

- ・生涯学習活動の成果を発表する機会となっている生涯学習フェスティバルを市文化協会をはじめとする社会教育団体等と協議しながら、その展示や発表等の見せ方を工夫することで、作品展示、舞台発表、地域・文化活動の紹介、体験コーナーの充実を図り、より多くの市民が来場する、魅力あるイベントにします。
- ・市民大学校については、コースを設定しての開催が好評であったことから、引き続き歴史や親子体験コース等のコース別に開催します。幅広い年齢層の方たちに参加いただくために、子育て関連や高齢者向けの講座なども採り入れ、公民館事業などで学びを活かす機会づくりを支援します。

## ② 生涯学習に関する情報の発信

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・市民による生涯学習成果発表・展示の場として、海と渚の博物館の回廊部分を「市民ギャラリーうみっこ」として活用した。また、七塚生涯学習センターや高松産業文化センターにおいて、各種団体のチラシなどを掲示し情報を発信した。
- ・京都大学・金沢大学や哲学研究者と連携し、貴重な西田幾多郎未公開資料の翻刻業務等を進め、西田哲学の調査・研究を行っている。
- ・市広報やチラシ、ホームページ、いいメールかほく、公式LINE等のSNS、ケーブルテレビ、新聞などの広告媒体を使い、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報を発信することにより、市民への告知や周知を行った。

### 【今後の方向性】

- ・単に施設側からの発信だけではなく、来館者のSNSなどによる情報発信による口コミ効果を狙う工夫を進めます。また、地域密着度が高い地域情報誌を活用して情報の周知を図ります。
- ・生涯学習フェスティバルについては、市民の生涯学習成果発表の場としては最大のイベントであり、多くの市民に来場いただき、観てもらうことが更なる生涯学習意欲の増進につながることから、展示や芸能発表を行う各協会と連携しながら、イベントへの来場を呼び掛けることで来場者数の増加を図ります。
- ・ホームページ・SNSなどを積極的に活用して広く情報発信をし、コロナ禍で減少した利用者数の増加へとつなげます。研究者等が調査・研究に活用できる専門施設であることと、市民が気軽に集える場所であること、この両方を提供できるよう意識して、魅力ある事業を進めます。
- ・「市民ギャラリーうみっこ」については、以前、市民ギャラリーを利用していただいた団体や市内文化団体に対し、DMによる利用案内を行っており、今後も市民の芸術文化活動の発表の場としての利用促進を更に進めます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市の人口に対する 生涯学習フェスティバル 作品展示会場来場者の割合	16.2%	16.1%	中止	13.2%	14.1%	18.0%
西田幾多郎記念哲学館来館 者数	31,370 人	28,668 人	18,806 人	18,939 人	19,090 人	35,000 人
「市民ギャラリーうみっこ」 を利用した展示会等の開催数	37 回	16 回	16 回	10 回	16 回	40 回

### ③ 市民大学校による学びの充実

担当課

生涯学習課

#### <取組内容・成果>

- ・市民の学習の場の一つとして、かほく市民大学校の講座を展開した。
  - 一般教養コース：「かほく市の歴史」をテーマにした歴史学びコース 全5回
  - 親子体験コース：7講座 全14回
  - 大人コース：5講座 全5回
- 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、個の学びの意欲に応えらるとともに、学びを通じた交流の輪の拡大を図ることができた。
- ・連続講座としてシリーズ化を図って講座を展開し、多くの方が複数回受講した。
  - 令和4年度かほく市民大学校 講座

種類	回数
一般教養コース（歴史学びコース）	5回
親子体験コース（親子で参加する教室）	14回
大人コース（大人のための人生いきいき講座）	5回
図書館・哲学館連携講座	29回
合計	53回

令和4年度  
かほく市民大学校  
歴史学びコース

学びの機会と学びによる交流の輪を広げる。かほく市民大学校を会場に、市民の学びの場を拡大します！  
昨年実施した「かほく市の歴史」の講座が大反響に続き、今年も歴史講座をご用意しました。  
皆さまのご参加をお待ちしております！！ 申込については募集要項をご覧ください。

受講場所  
第1～4回 市民大学校のターナー 2階 視聴覚講座室（市民大学校図書情報館）  
第5回 大野交流センター 多目的ホール（8888線バス停）

第1回 6月2日（水） 午後7時00分～午後9時00分  
「未守合戦と桜井三郎左衛門」  
講師 羽戸 真 氏（かほく市史編さん委員会 委員）  
※午後の講座は雨天決行せず、講師が実施可能と判断した場合は7時30分に開講します。

第2回 6月14日（木） 午後7時00分～午後8時30分  
「東 善作から学ぶSDGs」  
講師 藤谷 清元 氏（東徳作研究会 代表）

第3回 6月29日（水） 午後7時00分～午後8時30分  
「上賀茂神社と加賀国金津荘」  
講師 東原 史明 氏（かほく市史編さん委員会 委員）

第4回 7月14日（木） 午後7時00分～午後8時30分  
「中世かほくに生きた人々～金津荘御百年からの手紙～」  
講師 寺口 学 氏（かほく市史編さん委員会 委員）

第5回 7月26日（水） 午前10時00分～午前11時30分  
※「本物の土器を洗おう！」  
～土器を洗って出土遺物の発見と発掘現場の再現～  
講師 志永 佑介 氏（かほく市史編さん委員会 文化芸術課）

かほく市民大学校  
「親子体験コース」  
（親子で参加する教室）

7月30日、8月7日、9月3日の3日間の日程で、小学4～6年生の親子20組が参加し、プログラミングソフトの「Scratch」を用いた制作コンテストに挑戦しました。制作した作品をコンテストに応募することを目指し、いろいろなセンサーの働きや動作機序について学び、夏休み期間を活用して制作に取り組む、個性豊かな作品を発表していました。

親子で参加して笑顔で記念撮影

「市民大学校歴史学びコース」チラシ 市民大学校親子体験コースの様子（広報10月号）

#### 【今後の方向性】

- ・受講者アンケートでは「満足」「やや満足」と回答いただいている割合は高いが、更に満足度を上げられる講座内容を検討するとともに、市民大学校を受講したことがない市民に対してPRを行うことにより、より多くの方に学習機会を提供し、学習意欲の向上を図ります。
- ・令和2年度から実施しているテーマを設定した連続講座については、参加者の評価も高いことから、引き続きアンケート調査を実施しニーズを把握しながら、時代に即した講座を実施します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市民大学校の受講者へのアンケートで「満足」または「やや満足」と回答した割合	—	92%	91%	91%	86%	80.0%
市民大学校の各講座における最低参加者数	5人	5人	20人	5人	2人	20人
出前講座の開催講座数	47講座	47講座	17講座	19講座	25講座	50講座

## 基本的方向 3 - (2) 読書環境の充実と生涯学習拠点としての機能強化

### ① 生涯学習拠点施設としての機能の強化

担当課

生涯学習課

#### <取組内容・成果>

- ・障害者差別解消法や読書バリアフリー法を受け、ICTを活用したデジタルサービスの提供を展開していくとともに、文字拡大や音声読み上げ対応など、電子書籍の利点を活かしたコンテンツを充実させ、多様な読書環境の整備を図った（令和4年9月1日より電子図書館開設、貸出人数 987人）。
- ・ケーブルテレビ、広報紙、ホームページ・いいメールかほくの他、公式 LINE やインスタグラムを通じて、図書館の資料・事業・サービスについて情報発信（新刊情報案内、図書館事業案内など）を行った。
- ・毎月23日の「市民読書の日」にあわせ、その前後の日曜日に様々なイベントを開催した。
- ・読書を介して交流するイベント「読書カフェ」を開催した。 4回 参加人数 42人
- ・CD付英語絵本を市内全小中学校に貸出した。学校での展示・読み聞かせ・放送により英語や外国の文化に触れる機会を提供した。
- ・「図書館友の会」やボランティア人材との連携を図り、図書館運営協力者会議での意見を踏まえながら、市民の声を取り入れ、市民に親しまれる図書館づくりに努めた。  
 ※おはなしボランティア「やまんば」によるお話会 (年間49回、参加人数 583人)  
 ※宮沢賢治を読む会 (年間8回、参加人数 57人)
- ・地域が一体となり読書活動推進に向けて取り組めるよう、学校・行政・ボランティア団体等の総合的な情報交換の場として初めて読書活動推進交流会を開催した。  
 (年間1回、参加人数 38人)

#### 【今後の方向性】

- ・紙媒体と電子媒体のそれぞれの書籍の長所を上手く活かしながら、利用者が最適な読書環境を選択し、活用できるように読書支援を行います。
- ・高齢者や身体に障害のある方にも配慮し、電子書籍の利点を活かしたコンテンツを引き続き充実させ、非来館サービスの提供を積極的に情報発信していきます。
- ・ホームページ、SNS、デジタルサイネージ、新聞等を積極的に活用し、生涯学習拠点施設としての図書館を広く市民にPRすることで、ハードユーザーでない人の図書館活用を促します。
- ・市内の読書ボランティア団体と地域で読書推進に携わる関係者との総合的な情報交換の場を引き続き設け、地域が一体となり読書活動推進に向けて取り組めるよう、更なる連携強化を図ります。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市立中央図書館来館者数	130,358 人	134,352 人	92,202 人	102,919 人	105,944 人	140,000 人
年間貸出人数 (市立中央図書館分)	42,716 人	43,317 人	33,007 人	39,095 人	37,891 人	46,000 人

## ② 子どもの読書活動の推進

担 当 課

生涯学習課

<取組内容・成果>

### 【読書を通じた子どもの健やかな成長のための取組】

- ・健康福祉課と連携し、4か月健診とあわせてブックスタート事業（読みきかせ、絵本プレゼント、読書案内、図書館案内）を行った（年間24回開催、参加人数312人）。
- ・子育て支援センターに出向き、未就園児と保護者等を対象にお話を開催した（年間35回、参加人数356人）。
- ・英語のおはなし会を開催した（年間50回 参加人数589人）。
- ・新型コロナウイルス感染症対策をしながら、市内こども園・幼稚園の年長児を招待するおはなし会を開催した（年間8回、参加人数210人）。

### 【子どもの関心と読書を結びつける取組】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響のため調べる学習教室、茶会とおはなし会、夜の図書館、絵本で楽しむクッキングは開催を見送ったが、手作り絵本教室は開催することができた。  
\* 手づくり絵本教室 （全4回、参加人数55人）

### 【読書活動の励みになる取組】

- ・調べる学習コンクール（応募数864点）、手づくり絵本コンクール（応募数124点）の作品展示、表彰式を行った。
- ・調べる学習コンクールの優秀作品を全国コンクールに推薦し、2点が優良賞に、2点が奨励賞に選ばれた。
- ・読書日記展を開催し、子どもたちの読書活動の様子を紹介した（市内6小学校から3人ずつ18人、市内3中学校から6人ずつ18人）。

### 【今後の方向性】

- ・子どもの読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校等がそれぞれの役割を十分に理解し、社会全体で取り組んでいくことが必要です。このため、ボランティアの育成や団体の活動を支援するとともに、関係機関等の連携をより深め、相互の円滑な協力体制を整備し、市民協働による読書活動を推進します。
- ・子ども時代の読書活動が大人になった時の支えになるため、読書習慣の形成に向けて、乳幼児期・小学生期・中学生期のそれぞれの発達段階に応じた効果的な取組を推進します。
- ・健康福祉課と連携を図りながら、3歳児健診に訪れた親子に絵本を提供する事業「セカンドブック」を開始します。「ブックスタート」に続き、絵本を通して更に親子の絆を強め、子ども自身が本の楽しさを知り、生涯を通じた読書習慣につながるよう図書館の活用を促します。
- ・学校図書館と公共図書館が連携しながら、友人同士で本を薦め合う読書会やブックトークなど、読書への関心を高める取組を充実させます。
- ・調べる学習の精度がこれまでの積み重ねにより年々向上しています。引き続き学校と連携し、児童・生徒が受け身ではなく、自ら能動的に学びに向かうような主体的な学習の取組の支援を行います。
- ・学校でも昼休み・朝読書・授業の時間にALTやアシスタントティーチャー、ボランティアが英語絵本の読み聞かせを行う機会が増えています。団体貸出の機会提供、活用法の情報提供を引き続き行います。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
調べる学習コンクール及び手づくり絵本コンクールの応募件数	729件	717件	18件	704件	988件	800件

### ③ 市立図書館と学校図書館との連携

担当課

生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・学校読書活動推進部会、学校司書部会で情報交換や研修を行い、連携を深めた（年間12回）。
- ・市立図書館から学校図書館へ貸出資料・返却資料の物流を行った（年間50回）。
- ・学校司書からの情報提供により、授業での並行読書や調べ学習に役立つ資料を充実させた。
- ・市立図書館・学校図書館担当者等の研修会で学校図書館の現状や先進事例を知り連携を深めた。

【今後の方向性】

- ・校長を学校図書館の館長として位置づけし、校長のリーダーシップの下、司書教諭又は図書館担当教諭と連携しながら、チーム学校として、市立図書館とも連携しながら、小学校では様々な分野の図書に触れる活動を行い、中学校では読書の質を高める取組を進めます。
- ・市立図書館司書と学校司書が連携し情報交換や情報共有を行いながら、授業に役立つ資料や読書意欲・読書効果の向上につながる資料の充実を図るとともに、市内学校で一体的な読書活動推進の取組を進めます。

数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で 「学校の授業時間以外に 1日当たり30分以上読書 をする」と回答した児童生 徒の割合(※)	小学校	45.1%	49.0%	—	35.7%	39.4%	50.0%
	中学校	31.0%	22.5%	—	23.4%	26.5%	35.0%

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

(※) 基本的方向1-(2)③の数値目標と同様

## 基本的方向3－(3) 博物館活動の充実と情報発信

① 石川県西田幾多郎記念哲学館の充実	
担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館20周年の節目を迎え、20周年記念事業を展開した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>開館記念特別講演会（兼寸心忌記念講演会）「西田哲学と生命科学」 講師：福岡伸一（生物学者・作家）令和4年6月4日（250人参加）</li> <li>展示会：「西田哲学館 20年の歩み展」令和4年5月19日～7月18日/期間中入館者（2,840人） 記念企画展（後掲）</li> <li>喫茶テオリア：過去の人気メニューを復活（前期：クリームソーダ/後期：ようかん）</li> <li>新オリジナルグッズの販売：「であるのである」付箋を製作</li> <li>新展示コーナーの設置：西田幾多郎旧宅（京都田中上柳町の借家）書齋「床の間」を復元展示 令和5年3月28日から一般公開</li> </ul> </li> <li>・常設展示に加え、企画展を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ：「20年間の新収蔵品展」 令和4年3月23日～9月25日/期間中観覧者（3,986人） 関連イベント：講演会「哲学館と西田哲学の20年 一人間像と思索の変遷を辿る」5月21日 講師：浅見洋（西田幾多郎記念哲学館館長） 52人参加</li> <li>テーマ：&lt;開館20周年記念特別展&gt;「漱石と幾多郎 一ふたりを慕う人々」 令和4年9月28日～令和5年3月26日/期間中観覧者（3,592人） 関連イベント：講演会「漱石と幾多郎 一ふたりを慕う人々」 11月23日 講師：長島裕子（秀明大学客員教授、日本近代文学） 34人参加 講座：「夏目漱石《だらしのない自然》のリアリズム」 12月3日 講師：伊藤徹（京都工芸繊維大学教授、哲学） 42人参加</li> <li>テーマ：「『善の研究』ができるまで」令和5年3月28日～</li> </ul> </li> <li>・「西田幾多郎哲学講座」（10回）、西田幾多郎の講義や講演を収録した『西田幾多郎講演集』を読み進める「寸心読書会」（10回）を開催した。</li> <li>・「寸心忌記念講演会」は、「開館20周年記念講演会」を兼ねて開催した（前掲）。</li> <li>・「夏期哲学講座」を3年ぶりに開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため、コロナ禍前に行っていた「合宿形式」は開催せず、期間も1泊2日と短縮し行った。</li> <li>・禅文化を気軽に体験する「坐禅文化体験会（座禅会）」を開催した。</li> <li>・市内小中学校と連携し、哲学対話やふるさと教育を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>大海小学校の哲学対話（全学年×1・3学期） 共通道徳から「ふるさと教育～西田幾多郎に学ぶ～」へ内容も変わり実施 小学5年生：「西田幾多郎の生涯を中心に、その人となりを学習する。」 内容：①道徳の授業で学び ②哲学館職員による出前講座「哲学対話」を実施</li> <li>中学2年生：「西田幾多郎の生涯からその哲学までを学び、自己を見つめ、これからの生き方を考える。」 内容：①「西田幾多郎記念哲学館」の展示室見学と講和を聞く</li> </ul> </li> <li>・気軽に哲学に触れられるよう、哲学館ホワイエに「健康？」をテーマにした本約50冊を配架して期間限定の読書空間を作り出し、「本の展示会」を1月21日から3月12日にかけて開催した。 入館者数 延べ 2,528人 関連イベント：哲学カフェ（2回 ※うち1回はオンライン開催）</li> <li>・市民が親しみやすい博物館としての新たな催し物として「幾多郎ファミリーワークショップ」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「薔薇の造花作り」9月3日（午前・午後、各1回開催）延べ9人参加</li> <li>②「ミニ掛軸を作ろう！」12月10日（午前・午後、各1回開催）延べ31人参加</li> </ul> </li> <li>・京都大学・金沢大学や哲学研究者と連携し西田未公開資料の翻刻業務を行った。 （ノート10冊、レポート30点）。</li> <li>・各種研修の受入と出前講座を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>研修受入 延べ 8回 198人（金沢二水高校、金沢美大、金沢大学、金沢星稜大学、ワタリウム美術館、市教育センター等）</li> <li>出前講座 延べ 6回 870人（南砺市、金沢大学資料館、鈴木大拙館等）</li> </ul> </li> <li>・西田記念哲学館利用助成金（大学等のゼミナールによる哲学館利用の促進を図る。） 新型コロナウイルス感染症の影響のため実績はなし。</li> <li>・主な修繕及び工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・書齋「骨清窟」塗装等</li> <li>・自家用発非常用発電機バッテリー交換</li> <li>・旧西田家「床の間」復元（再掲）</li> </ul> </li> </ul>	

【今後の方向性】

- ・令和5年度は新型コロナウイルス感染症の状況も変わり、ウィズコロナ時代へ突入していきます。そうした中、来館者も徐々に増加傾向にあり、今後も企画展や関連イベントなど各種事業を充実させます。メディアやマスコミから注目を集められるよう情報発信に工夫をこらし、SNSなどを活用し広くPRすることで県内外はもとより外国の方の来館者の増加にもつなげます。
- ・令和5年度も鈴木大拙館や金沢ふるさと偉人館など他機関と連携した交流事業を実施していきます。引き続き、哲学カフェや禅文化体験会、令和4年度に好評を得た市民向けワークショップなど気軽に参加できるイベントの継続的開催を行うことで、広く哲学の普及を図り、新たな来館者やリピーター（交流人口）の増加につなげます。
- ・上田家寄贈資料を中心とした貴重な新収蔵資料を、新たな研究資料として活用できるように整理を進めていきます。
- ・収蔵品データベースの資料情報の充実を図り、引き続き収蔵品データベースの活用と学術利用の更なる促進につなげます（令和4年度はメディア・刊行物等の画像利用が29件。）。
- ・京都大学・金沢大学等と連携し、貴重な西田未公開資料の翻刻業務等を進め、西田哲学の調査・研究を行います。また、その成果を研究資料化報告書としてまとめます（令和4年度は『報告6』を刊行）。
- ・建物や設備も開館から20年を迎え、経年劣化による不具合の発生がみられるため、日常点検の実施による不具合の早期対応により来館者が安全で安心して過ごせる環境づくりを行います。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
西田幾多郎記念哲学館展示室観覧者数	8,563 人	9,144 人	6,472 人	6,243 人	7,515 人	9,500 人
西田幾多郎哲学講座の受講者アンケートにおいて、「とても良い」または「良い」と回答した割合	—	87.6%	86.1%	90.1%	87.2%	80.0%

## ② うみっこらんど七塚の充実と「海と渚の博物館」機能の強化

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・「海と渚の博物館」での民俗資料の公開と市民の芸術文化活動の発表の場として「市民ギャラリーうみっこ」での作品展示会の開催、キャンプ場及びバーベキュー場の運営により人々の交流活動を促進した。
- ・博物館展示室観覧者数 3,329人（うちギャラリー入場者数 1,584人）
- ・「市民ギャラリーうみっこ」での展示会の開催 16回  
（主な展示会）
  - ・白峰会書道教室展
  - ・Kフレンズ 2020 グラスアート作品展
  - ・かほく市フラワーデザイン協会生徒作品展
  - ・かほく市木犀句会&ドライフラワー&せるクル作品展
  - ・ふしぎな花倶楽部 押花合同展
  - ・P F U社友会作品展「社会貢献活動報告」
  - ・「手づくりおしゃれ工房」教室展
  - ・七塚絵手紙教室作品展
  - ・布ぞうり&花のおりがみ展
  - ・愉しむ
  - ・かほく市絵画協会作品展
  - ・石川県中央都市圏考古資料展
  - ・かほく市書道協会展
  - ・第18回 私の作品展
  - ・原爆戦争写真展
  - ・かほく市生け花協会作品展
- ・キャンプ場等利用者数 2,524人（うちバーベキュー場利用者数 1,311人）
- ・体験活動の実施 貝がらアート体験 3人
- ・昔の暮らしの開催 大海小学校 3年生 13人、外日角小学校 65人、金津小学校 12人

### 【今後の方向性】

- ・民間の広告媒体、SNS、ホームページ、ケーブルテレビなどを活用し、施設最新情報の発信を行い来館者の興味や関心を促し増加につなげます。また、かほくふるさと展示室が、ふるさと学習の拠点となるよう、学校などと連携を図り、有効に活用します。
- ・建物及び設備の経年劣化等が進行しているため、計画的な設備・機器等の更新・修繕等を適宜行います。「海と渚の博物館」については、現在の社会情勢や財政状況、市民ニーズなどを踏まえ、用途変更及び効率的な管理形態の見直しを行います。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
「市民ギャラリーうみっこ」の観覧を含む「海と渚の博物館」の来館者数	12,006 人	6,368 人	2,218 人	2,365 人	3,329 人	15,000 人

## 基本的方向 3 - (4) 生涯学習活動を支える環境の整備・充実

① 生涯学習センターの運営管理	
担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの生涯学習センター（七塚・宇ノ気）施設の適切な運営や維持管理に努め、設備更新や修繕を進め、安心して安全に利用できる生涯学習の場を提供した。</li> </ul>	
<p>&lt;宇ノ気生涯学習センター&gt;</p> <p>運営状況</p> <p>開館時間：火曜日～土曜日 午前9時から午後10時まで（図書、学習コーナーは午後5時まで） 日曜日・月曜日 午前9時から午後10時まで</p> <p>休館日：祝日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）</p> <p>利用者数：令和4年度合計人数 31,342人（教育センター除く）</p> <p>主な修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2階トイレ改修工事</li> </ul>	
<p>&lt;七塚生涯学習センター&gt;</p> <p>運営状況</p> <p>開館時間：火曜日から土曜日まで 午前9時から午後10時まで 日曜日 午前9時から午後5時まで</p> <p>休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始</p> <p>利用者数：令和4年度合計人数 11,103人</p> <p>主な修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外壁タイル補修工事</li> <li>・ 空調機補修工事</li> <li>・ 駐車場区画線補修工事</li> <li>・ 2F和室襖障子修繕</li> <li>・ 陶芸窯修繕</li> </ul>	
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここ数年、経年劣化による修繕項目が増えてきており、緊急性の高いものもあることから、引き続き、施設と設備の適切な運営と管理及び良好な施設環境の保持に努め、市民の生涯学習の場、成果発表の場としての活用を促進します。</li> <li>・ 宇ノ気生涯学習センターについては、令和5年度に長寿命化計画に基づき改修を行います。</li> <li>・ 七塚生涯学習センターについては、令和3年度に策定した長寿命化計画を基に計画的な大規模改修を行います。</li> </ul>	

## ② 地域交流施設などの有効活用

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・地域交流施設については、市民大学校などの生涯学習事業による活用のほか、保育ママ向け講演会の開催や文化協会の活動発表の場として利用された。
  - (各施設実施内容)
  - \* 七塚生涯学習センター・・・市民大学校、女性会・子ども会などの各種団体における学習会など
  - \* 宇ノ気生涯学習センター・保育ママ向け講演会、英語アシスタント研修、文化協会の団体活動など
  - \* 河北台中学校講堂・・・成人式、立志式など
- ・地域活動の拠点施設である地区公民館について、快適な学習環境が継続できるよう施設の修繕を行った。
  - (地区公民館 主な修繕内容)
  - \* 松浜公民館・・・庇防水等改修
  - \* 遠塚公民館・・・グラウンドフェンス改修
  - \* 秋浜公民館・・・軒先等改修、駐車場拡幅
  - \* 宇野気公民館・・・屋上防水等改修
- \* その他、消防設備など適宜修繕を行った。
- ・令和2年度に市社会教育委員会に諮問した「公民館を核とした社会教育活動の活性化」について、市社会教育委員会では、答申に向け、市外の先進地視察を行ったが、その後は素案に対する書面による意見徴集しかできず、内容について協議を進めることができなかつたため、委員各位の総意を取り入れるため、令和5年度も引き続き継続審議することとした。

### 【今後の方向性】

- ・経年劣化による公民館の修繕等については、地元の要望をもとに協議を行い、必要性の高いものから優先順位をつけて順に実施します。また、長寿命化に向けた大規模改修などについて、地元と協議し、計画的に行います。
- ・市社会教育委員会に諮問した「公民館を核とした社会教育活動の活性化」については、答申に向けて審議を行っており、令和5年度上半期中に答申を行い、その答申を踏まえ、具体的な取組計画を作成します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
地区公民館等のコミュニティ施設のあり方に関する整理と新たな支援	—	準備	諮問	審議	審議	実施

## 基本的方向 4 - (1) ふるさと学習の充実

### ① ふるさと「かほく市」を学び知る機会の提供

担 当 課

スポーツ文化課・生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・かほく市民大学校において、生涯学習課と連携し、県内の関係機関から講師を招き、「かほく市の歴史」をテーマとした講座を令和3年度から開催し、郷土の歴史や風土、文化財を知る機会を提供できた。
  - \* 「東 善作から学ぶSDGs」講師：蔵谷清元氏 受講者 33人
  - \* 本物の土器を洗おう！—二ツ屋E遺跡出土遺物の洗浄と発掘調査の解説— 受講者 22人
- ・また、市史編さん事業を契機とした市史編集専門委員による講座を実施した。
  - \* 「末守合戦と桜井三郎左衛門」講師：瀬戸薫氏 受講者 64人
  - \* 「上賀茂神社と加賀国金津荘」講師：東四柳史明氏 受講者 57人
  - \* 「中世かほくに生きた人々～金津荘御百姓からの手紙～」講師：寺口学氏 受講者 43人
- ・うみっこらんど七塚の海と渚の博物館内にある「かほくふるさと展示室」の展示コーナーにおいて、遺跡から出土した遺物や市指定文化財を展示したミニ企画展をホームページ等で告知し開催した。
  - \* 「北村人別帳」編 (令和4年4月26日～8月3日)
  - \* 「二ツ屋E遺跡」編 (令和4年8月3日～令和5年4月21日)
- ・さらに、令和5年1月6日から1月26日までの期間において、石川中央都市圏歴史遺産活用連絡会による考古資料巡回展(縄文時代編)を展示公開した。

【今後の方向性】

- ・市民が郷土の歴史や文化財に気軽に親しむ機会の充実を図るため、イオンかほくSCなどの商業施設等との連携を強化し、様々な場所で市民がフィールドワークや実物に触れ親しむ体験型学習等の機会を拡充します。
- ・かほくふるさと展示室の、ふるさと学習施設としての活用策について、見学者アンケートの結果や市内小中学校との調整を行い、魅力アップに努めます。
- ・東善作を顕彰する「石川県紙ひこうき大会 in かほく」を再開することで、大会を通じて東善作の功績を市民に周知します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
ふるさと学習関連事業の開催数 (市教育委員会が事業主体のもの)	3回	6回	7回	8回	5回	5回

## ② かほく市ゆかりの人物に関する情報の発信

担 当 課

スポーツ文化課

<取組内容・成果>

### 【鶴彬の紹介・発信】

- ・高松産業文化センター2階（展示ケース）において、鶴彬に関する展示を継続した。
- ・かほく市川柳協会と鶴彬を顕彰する会の主催による「第27回鶴彬川柳大賞」が開催され、全国へ情報が発信された。  
\* 第27回鶴彬川柳大賞 投句者数：181人

### 【東 善作の紹介・発信】

- ・【再掲】かほく市民大学校において、東 善作に関する講座を開催した。  
\* 「東 善作から学ぶSDGs」講師：蔵谷清元氏 受講者 33人
- ・広報かほく「かほく市の文化財」にて、桜井三郎左衛門や唐仁屋三郎兵衛の紹介を行った。  
\* 広報かほく5月号、11月号、12月号

### 【今後の方向性】

- ・引き続き、地元ゆかりの偉人に関する更なる情報を発信するため「かほくふるさと展示室」での常設展示を行います。
- ・中央図書館や哲学館において、市民大学校で郷土の偉人の講座を開催するにあたり、関係する出版物等の企画展を開催し、講座の事前事後のフォローアップを実施します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市民大学校の受講者等へのアンケートで各人物ごとに「知っている」と回答した割合	—	—	66.2%	74.3%	71.2%	50.0%

## 基本的方向 4 - (2) 芸術文化活動の促進と支援

### ① 芸術や文化活動に触れる機会の提供

担 当 課

スポーツ文化課・生涯学習課

<取組内容・成果>

〔哲学館ホール活用・ライトアップ連携事業〕

- ・ 雅楽鑑賞会 in 哲学館
  - \* 期日及び会場 令和4年9月17日(土) 西田幾多郎記念哲学館
  - \* 参加者 一般市民 153人
  - \* 演奏内容 雅楽団体「洋遊会」による舞楽「蘭陵王」、管弦「越天楽」
- ・ 哲学館Xmasクラシックコンサート2022を開催。
  - \* 期日及び会場 令和4年12月21日(水) 西田幾多郎記念哲学館
  - \* 参加者 一般市民 125人
  - \* 演奏内容 チェロ奏者の大澤 明氏とその仲間たちによる演奏

〔中央図書館主催事業〕

- ・ 市民読書の日事業を開催。  
朗読ユニット「音がたり」の戸丸彰子氏、モリ川ヒロト一氏を招き、「文豪に酔いしれる」と題した朗読公演を開催した。
  - \* 期日及び会場 令和5年2月26日(日) 七塚生涯学習センター
  - \* 参加者 一般市民等 70人

〔海と渚の博物館活用事業〕

- ・ 「市民ギャラリーうみっこ」を活用して各種団体による展示会を開催
  - \* 開催回数 計16回
  - \* 主な内容 書道展、絵画展、水墨画展、生花展、押花アート展 ほか

〔イオンかほく事業〕

- ・ イオンかほくSCにおいて古代体験や文化協会によるイベントを実施
  - \* 期日及び会場 令和4年5月3日(火)
  - \* 参加者 一般市民等 160人
  - \* その他文化協会によるイベント
    - 演奏会 吹奏楽協会 令和4年5月3日(火)
    - 作品展 写真協会 (1~2か月ほどで定期的に実施)
    - 歌謡舞踊ショー 新舞踊協会 令和4年11月26日(土)
    - ミニコンサート 高松少年・少女合唱団 令和5年2月26日(日)

【今後の方向性】

- ・ 市民にとってより身近に芸術文化活動に触れる機会を創出するため、中央図書館や哲学館、海と渚の博物館だけでなく、イオンかほくSCなど多くの市民が利用する施設でのコンサート開催や、展示等のイベントを継続して開催します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
コンサートや展示会など芸術発表の開催数 (市教育委員会が事業主体のもの)	4回	5回	4回	3回	6回	6回

## ② 文化活動団体・個人への支援

担 当 課

スポーツ文化課

<取組内容・成果>

### 【市内文化活動団体の紹介】

- ・文化活動団体の紹介チラシを作成し、全戸配布するとともに、生涯学習センターなどの公共施設にチラシを配置して情報を発信した。

### 【文化活動の紹介、情報発信】

- ・市広報にて、文化活動の紹介や活動の事前告知を行った。  
「まちの話題」ほか（掲載5回）  
特集記事として第19回生涯学習フェスティバル

### 【文化活動支援補助事業】

- ・いしかわ県民文化振興基金「文化活動支援事業」による事業1件に対して対象期間中の補助金を決定交付した。  
\*平成31年～令和4年 かほく市民謡の祭典事業  
民謡の祭典（令和4年11月6日）  
（市民謡協会設立15周年を契機として開催された会員による民謡発表会）

### 【今後の方向性】

- ・市民に対し文化活動の紹介や、活動費、全国大会等出場時の激励費などを支援することで、市内の文化活動の活性化を図ります。
- ・文化協会加盟団体に対し、県が芸術文化の活動支援策としている文化活動支援事業の更なる利活用を促します。
- ・会員の固定化・高齢化、会員数の減少傾向が進む文化協会・加盟団体には、新規会員の勧誘策や新規団体の加盟促進策について、協会での検討を進めます。
- ・国民文化祭（いしかわ百万石文化祭2023）と、市が主催する文化的イベントを紐付け、国民文化祭の機運上昇と市民の文化活動の浸透を図ります。
- ・部活動地域移行における文化活動の地域連携についての検討を始めます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
文化協会加盟会員数	1,278人	1,240人	1,191人	1,105人	1,035人	1,320人

## 基本的方向 4 - (3) 未来に伝える文化財の保護と活用

### ① 文化財を活用した学習の充実

担 当 課

スポーツ文化課

#### <取組内容・成果>

- ・縄文時代や弥生時代の学習に合わせて、市内小学校6年生を対象とした歴史体験教室（出前講座）を実施し、国指定史跡「上山田貝塚」や石川県指定史跡「大海西山遺跡」の学びにつなげた。弥生土器づくり・土器焼きを小学校5校で実施したほか、石川県埋蔵文化財センターと連携し、管玉・勾玉作り、縄文土器や弥生土器、石器の実物見学と説明を行った。

#### 【令和4年度実績】

- ・土器づくり・土器焼き 大海小 19人、高松小 66人、七塚小 42人、金津小 12人、外日角小 50人
- ・出前講座 大海小 19人、高松小 66人、七塚小 42人、金津小 12人、宇ノ気小 98人、外日角小 50人

#### ・学習支援

小学校の遠足に合わせた大海西山弥生の里の解説 … 宇ノ気小学校6年生（98人）

「長柄用水」現地見学 … 大海小学校4年生（20人）

市内遺跡解説、管玉づくり体験教室（PTA連携）… 外日角小学校6年生（8人）

#### ・出前授業の実施

大海西山弥生の里解説 げんきステップ（金沢） 15人

上山田貝塚の解説 一般見学者（関西） 19人

火起こし体験 金津学童保育児童 12人

桜井三郎左衛門の解説 津幡町ボランティアガイド 20人

- ・生涯学習フェスティバルにおいて、体験コーナーとして勾玉づくりを行った。体験者は親子が多く、約75人が体験した。

- ・かほく市民大学校として下記の講座を開催した。【再掲】

\* 本物の土器を洗おう！—ニツ屋E遺跡出土遺物の洗浄と発掘調査の解説— 受講者 22人

#### 【今後の方向性】

- ・学校での意見や要望を踏まえながら、石川県埋蔵文化財センター普及部と連携し子供の興味関心を促す出前授業や文化財を活用したふるさと教育の充実を図ります。
- ・多様化するニーズに柔軟に対応し、幅広い世代に対しかほく市の歴史を周知する活動を進めていきます。また、本市の歴史、文化等が色濃く残る能登街道高松宿の歴史的町並みや、西田幾多郎書斎・骨清窟、長柄用水など建造物の文化的景観についても、市史編さん事業と連携し広報していきます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
文化財関連座学及び体験講座の開催数	5回	10回	11回	16回	22回	9回

## ② 文化財の公開と活用の促進

担 当 課

スポーツ文化課

<取組内容・成果>

[海と渚の博物館内かほくふるさと展示室]

- ・かほく市の文化財を紹介・展示した企画展を開催した。

【令和4年度】【再掲】

\* 「北村人別帳」編 (令和4年4月26日～8月3日)

\* 「二ツ屋E遺跡」編 (令和4年8月3日～令和5年4月21日)

- ・令和5年1月6日から1月26日までの期間において、石川中央都市圏歴史遺産活用連絡会による考古資料巡回展(縄文時代編)を展示公開した。【再掲】

[かほく市立中央図書館]

- ・絵図やイメージ図を用いつつ、市内の遺跡を解説した「かほく市の歴史～中世から近世へ」を実施し、近世の民具を中心に展示公開した。

[生涯学習フェスティバル]

- ・行政展示ブースにて気屋遺跡の出土遺物を展示しつつ、発掘調査の仕事を紹介する「発掘調査のお仕事紹介～気屋遺跡発掘調査より～」を実施した。

[広報かほく]

- ・広報かほくで各種の市内文化財などの紹介を通年で行った。

【今後の方向性】

- ・かほくふるさと展示室について、更なる施設の周知と常設展示の拡充及び企画展の展示品を定期的に入れ替えするなど、飽きのこない展示内容を検討し実施します。
- ・石川中央都市圏との連携を継続強化し、市外にも「かほく市の文化財を知る」機会を拡大するとともに、市内に現存する文化財情報を広く発信していきます。
- ・文化財収蔵庫の老朽化対策のための調査を実施します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
文化財をはじめとする各種ふるさと資料の公開のための「郷土資料展示室」の整備	—	実施	実施	実施	実施 (完了)	実施

### ③ 文化財の適切な保護と管理

担 当 課                      スポーツ文化課

＜取組内容・成果＞

- ・ 開発行為等に係る発掘調査を実施した。  
\* 細滝神社遺跡（二ツ屋地内） 令和4年7月4日～8月22日
- ・ 平成30年度から実施した県営ほ場整備事業に係る気屋遺跡発掘調査について、調査報告書（300部）を刊行した。
- ・ 大海西山弥生の里の竪穴住居（復元住居）の維持管理として、防虫のための作業を実施した。  
防虫のための作業 令和4年11月25日
- ・ かほく市史の編さん室を設置した（令和4年4月～）。
- ・ 図説編の編さんに向けた検討を本格化した。  
かほく市史編さん委員会の実施（2回 令和4年6月1日、令和5年3月22日）  
かほく市史編集専門委員会の実施（4回）  
かほく市史編集専門委員会専門部会の実施（9回）  
かほく市史編さんのための資料借用
- ・ 史跡整備されている上山田貝塚（国指定史跡）、大海西山遺跡（県指定史跡）については、パトロールと委託業務を通じて適切な史跡の保護を図った。

【今後の方向性】

- ・ 国県の指定史跡については、定期的に県と連携したパトロールを実施し、そのパトロール結果を踏まえて適切な管理と保護措置を進めます。また指定文化財等の劣化や破損等を防止するために、専門機関からの助言等を受け、文化財の特性・所有状況に応じた保存・管理等の支援を継続します。
- ・ 市が保有する文化財、民俗資料等を保管する文化財収蔵庫の老朽化に伴い、今後の適切な保管方法・整備について検討を進めます。
- ・ 市史編さんにおいて、新たに発見された貴重な史料を公開するなど情報発信していきます。また、市文化財等の指定にむけ市史編さん委員などとの協議を開始します。

刊行年度	種 別	分 野
令和 6年度（2024年）	図説編	かほくの歴史
令和 7年度（2025年）	資料編1	古代・中世
令和 8年度（2026年）	資料編6	寺 社
令和 9年度（2027年）	資料編7	民 族
令和10年度（2028年）	資料編3	近 代
令和11年度（2029年）	資料編5	考 古
令和12年度（2030年）	資料編2	近 世
令和13年度（2031年）	資料編4	現 代
令和14年度（2032年）	資料編8	集 落
令和15年度（2033年）	通史編	通 史

表 かほく市史刊行スケジュール（予定）

数値目標項目	計画策定時 （実績値）	R元年度 （実績値）	R2年度 （実績値）	R3年度 （実績値）	R4年度 （実績値）	R5年度 （目標値）
かほく市内指定文化財の数	48 件	48 件	48 件	48 件	48 件	60 件
かほく市史編集委員会等の組織の整備	—	—	—	実施	実施	実施

## 基本的方向 5 - (1) 生涯にわたるスポーツ活動の振興

### ① スポーツへの参画人口の拡大

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>＜取組内容・成果＞</p> <p>〔スポーツ推進委員等による活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度…スポーツ推進委員数 18 人</li> <li>・昨年の評価において、今後の取組の方向性とした「かほく市民交流スポレクサーキット大会」を「市民交流大会」、「スポーツ体験会」に再編した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民交流大会（ペタンク競技） <span style="float: right;">参加者 230 人</span></li> <li>* スポーツ体験会（ニュースポーツ&amp;PFU ブルーキャッツ交流） <span style="float: right;">参加者 77 人</span></li> <li>* スポーツ体験会（かほくくでの親子スポーツ体験） <span style="float: right;">参加者 191 人</span></li> </ul> </li> <li>・河北台中学校の3年生を対象に体育の授業において、スポーツ推進委員や各種競技協会の協力のもとインディアカ・ペタンク、カローリングを体験した。</li> <li>・公民館や自治会などへスポーツ活動の指導や派遣支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症で地区の行事開催が影響を受け、事業の一部が中止となった。</li> </ul> <p>〔イオンかほくSCと連携した事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「はっスポ」の実施 (遊びをスポーツと捉えた新たな事業として、新年の昔遊びを地域の方々の協力を得て実施)</li> <li>* PFUブルーキャッツ県外開催ホームゲーム等の、パブリックビューイングの実施</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の活動である、市民へのスポーツの指導及び助言や普及推進事業については、対象者が多様で活動時間も長くなることから、体育館を使用しているイベントは集客しにくい状況にあることから、イオンかほくSCやかほくくなどの活動を検討していきます。</li> <li>・河北台中学校での体育の授業を活用したニュースポーツ体験については、市内全校に広げていくよう学校との調整を進めます。</li> </ul>						
数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率 (国目標：週1回以上65%程度)	—	79.0%	78.0%	55.3%	56.2%	70.0%
<small>※電子アンケート、生涯学習フェスティバル、市民体カテストにてアンケート調査実施 アンケート調査結果 374/666</small>						

## ② 運動習慣の定着とスポーツを通じた生きがづくり

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が健康的かつ生きがいをもって自立した生活が送れるよう、健康増進や介護予防の必要性を学び、日頃からの体力・健康づくりにつなげるため、ケーブルテレビを活用した「ちょいトレ」や「百歳体操」などで市民に対する日常運動の啓発活動を進めた。</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の評価において、今後の方向性とした市民体カテストの民間委託について、高松総合型地域スポーツクラブ拠点施設（アクロス高松）の指定管理者であるコナミスポーツに委託し、民間のノウハウを活用し実施した。 参加人数：101人（前回実施時 令和元年度：87人）</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のだれもが気軽に参加できるスポーツ大会として、市民交流大会（ペタンク競技）を実施した。 【再掲】</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンかほくSCやかほくくるでスポーツイベントを実施することで、普段運動になじみのない方々にも運動の機会を提供することができた。【再掲】</li> </ul>						
<p>【今後の方向性】</p>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動にあまり馴染みのない方々が、スポーツに取り組めるよう石川県立看護大学や健康福祉部局等と連携し、気軽に取り組めるスポーツを通じた健康の維持増進に関する取組を進めます。</li> <li>・市内外のスポーツイベントやスポーツに関する各種大会等の情報を広く提供していきます。また、生活習慣病の予防につなげるため、運動習慣が定着化する軽度のスポーツプログラムを検討し、地域住民の多様な健康志向やニーズに応じたスポーツに親しむ機会を創出します。</li> </ul>						
<p>数値目標項目</p>	<p>計画策定時 (実績値)</p>	<p>R元年度 (実績値)</p>	<p>R2年度 (実績値)</p>	<p>R3年度 (実績値)</p>	<p>R4年度 (実績値)</p>	<p>R5年度 (目標値)</p>
<p>石川県立看護大学や地域スポーツクラブとの連携による健康づくりに関する実施事業数</p>	<p>1事業</p>	<p>1事業</p>	<p>0事業</p>	<p>0事業</p>	<p>1事業</p>	<p>3事業</p>

### ③ 女性活躍の促進と障がい者がスポーツに親しめる環境の整備

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

＜取組内容・成果＞

- ・市体育協会（スポーツ協会）、スポーツ少年団等の幹部役員には積極的に女性が登用されている。
- ・スポーツ推進委員は、委員 18 人中女性委員は 8 人で、委員に占める割合は 44.4%となっている。
- ・市社会福祉協議会・県障害者スポーツ協会と連携し、市身体障害者福祉協会が主催するスポーツ体験会にスポーツ推進委員を派遣することで、スポーツ活動への支援や障がいの有無にかかわらずスポーツに触れる機会を提供できた。

【今後の方向性】

- ・ホームページや各種イベント、SNS などにて、女性スポーツ選手の活躍を広く発信し、指定管理者との協力により女性向けイベントの企画を行うなど、女性や子育て中の母親のスポーツ参加を促します。
- ・障がい者のスポーツに対する意識が高まってきていることから、「障害者スポーツ協会」の設立に向けた調整を行い早期の設立をめざします。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
障がい者の週 1 回以上のスポーツ実施率 (国目標：週 1 回以上 40%程度)	—	42.3%	36.8%	40.6%	49.6%	45.0%

※かほく市内障がい者福祉施設にアンケート調査実施  
アンケート調査結果 73/147

## 基本的方向 5 - (2) 競技スポーツの強化と底辺の拡大

### ① 競技力向上にむけたスポーツ機会の充実

担 当 課

スポーツ文化課

#### <取組内容・成果>

- ・ 競技スポーツとしての競技力向上と競技人口の底辺拡大、生涯スポーツの推進を図るため、広い世代を対象に各種大会の開催を実施した。ただ、一部で新型コロナウイルス感染症や豪雨の影響のため、中止となった大会があった。

#### －主な大会－

- \* 第 19 回かほく市総合体育大会(中心会期：令和 4 年 6 月 5 日)
- \* 第 19 回かほく市長杯争奪石川県ラージボール卓球大会(令和 4 年 8 月 21 日)
- \* サンドヒルかほく市 2022 グラウンド・ゴルフ大会(令和 4 年 8 月 28 日)
- \* 令和 4 年度かほく市学童招待野球大会(令和 4 年 10 月 22 日・23 日)
- \* 第 37 回石川県中学校選抜剣道大会(令和 5 年 2 月 18 日)
- \* 第 44 回加賀能登少年剣道大会(令和 5 年 1 月 8 日)
- \* 第 19 回かほく市制施行記念継走大会(令和 5 年 3 月 5 日)
- ・ 県民スポーツ大会の令和 5 年度の地元主会場開催に向けた準備を県スポーツ協会、郡市・市体育協会(スポーツ協会)と連携しながら進めた。

#### 【今後の方向性】

- ・ 次世代アスリートの育成や青少年の競技力向上のため、スポーツ協会の加盟団体やスポーツ少年団等が主催・協力する各種競技大会の開催について継続して支援します。
- ・ 4 年ぶりに開催となる県民スポーツ大会の令和 5 年度の河北郡市主会場開催に向け、準備を進め着実に実施します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市体育協会(スポーツ協会)に加盟する競技団体数	33 競技	35 競技	35 競技	35 競技	35 競技	36 競技

## ② 指導体制の充実

担 当 課

スポーツ文化課

### <取組内容・成果>

- ・指導者育成のため、各競技の公認審判員等の資格取得研修や登録費用の一部助成を継続して行い、公認審判員の資格取得を奨励した。

公認審判員取得奨励金支給人数 71人

内訳【令和4年度】 71人（内新規10人）

トランポリン28人、ゲートボール2人、剣道1人、水泳3人、ソフトテニス1人

ソフトボール10人、バウンドテニス2人、バドミントン1人、バレーボール1人

陸上競技18人、バスケットボール3人、レクリエーション1人

参考 【令和3年度】 74人

### 【今後の方向性】

- ・ジュニア期から成年期まで、世代に応じた適切な指導ができる指導者の育成のため、スポーツ関係団体等の指導者公認資格の取得に対し継続して助成します。また、制度の周知についても市広報誌、SNS等を活用し実施します。
- ・現在、スポーツ少年団を指導する者が有する資格の移行（スポーツ少年団認定員からコーチングアシスタントへの資格移行）について必要な情報を提供し、資格移行にかかる費用の一部を助成し、指導体制の維持に努めます。
- ・部活動地域移行にあたり、新しい資格等が必要となる場合は適切な助成を検討していきます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
スポーツ指導員の指導者数	—	5人	8人	14人	15人	20人

### ③ 競技選手への支援の充実

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

#### <取組内容・成果>

- ・競技スポーツの振興を図るため、全国大会へ出場する選手・監督等に対して激励費を支給した。
- ・7月に全国高等学校総合体育大会の出場選手激励会、9月に国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の激励会を開催した。
- ・平成27年度から市内に住所を有する中学生以下の全国大会への出場者に対し、交通費等の必要経費に対する助成を行っており、保護者の負担軽減を図っている。

#### －全国大会出場実績－

大会合計：37大会

人 数：155人

〔内訳：中学生以下（21大会 50人）、高校生以上（16大会 105人）〕

- ・「かほく市明日のアスリート育成助成」は、2件の助成を行った。  
令和4年6月5日（日）かほく市水泳協会 種田恵（2008年北京五輪日本代表）  
令和4年12月29日（木）宇ノ気ブルーサンダー 奥川恭伸（東京ヤクルトスワローズ）山瀬慎之助（読売ジャイアンツ）

#### 【今後の方向性】

- ・次世代アスリートの育成支援のため、全国大会へ出場する選手等に対して激励費の支給を継続して実施します。また、出場選手の健闘を称える報告会等の開催や優秀成績者の表敬訪問、活躍の広報掲載も積極的に行います。
- ・障がいの有無に関わらず、スポーツに対する関心を高めるため、気軽に楽しくスポーツに親しむことができる体験会等の実施に取り組みます。
- ・スポーツ協会やスポーツ少年団と連携し、「かほく市明日のアスリート育成助成事業」の活用によりトップアスリートに触れる機会を創出し、次世代のアスリート育成に繋がります。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
「かほく市明日のアスリート育成事業」 助成件数	－	2件	0件	0件	2件	5件

#### ④ 学校教育と連携した運動習慣の確立と体力の向上

担当課

学校教育課・スポーツ文化課

##### <取組内容・成果>

- ・文部科学省やスポーツ庁がめざす部活動の地域移行について、中学校教員、小中学校児童性生徒及び保護者、体育協会（スポーツ協会）、スポーツ少年団に対しアンケート調査を実施した。
- ・令和5年3月20日（月）には、第1回かほく市立中学校部活動地域移行検討協議会を開催し、各種団体、学校及び保護者からの意見聴取を実施した。
- ・河北台中学校の3年生を対象に体育の授業において、スポーツ推進委員や各種競技協会の協力のもとインディアカ・ペタンク、カローリングを体験した。【再掲】

##### <学校現場での取組>

- ・「部活動ガイドライン」に基づき、各学校において「学校の部活動に係る活動方針」を策定し、休養日や活動時間について指導するとともに、保護者や地域への周知を図った。
- ・部活動外部指導者の活用により、顧問の技術指導の補助や生徒の技能の向上が図られ、各種大会において優秀な成績を収める結果となった。
- ・専門的知識・技術を有する外部指導者を活用し、顧問教諭と連携しながら部活動のコーチ等として技術指導を進めている。

（外部指導員）

高松中学校	ソフトテニス・卓球・剣道・バドミントン	計6人
河北台中学校	バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトテニス	計5人
宇ノ気中学校	陸上、バドミントン・バレーボール	計3人

##### 【今後の方向性】

- ・部活動の地域移行については、国の動向を注視しながら、学校や関係団体と協議を行い、実施可能な競技から、順次移行を進めていきます。
- ・河北台中学校での体育の授業を活用したニュースポーツ体験については、市内全校に広げていくよう学校との調整を進めます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
部活動指導員等と運動部顧問を対象とした研修会の開催回数	—	0回	0回	0回	0回	年1回以上

## 基本的方向 5 - (3) スポーツ団体の育成支援と連携

### ① (仮称) かほく市スポーツ協会設立にむけた調整の実施

担当課	スポーツ文化課
-----	---------

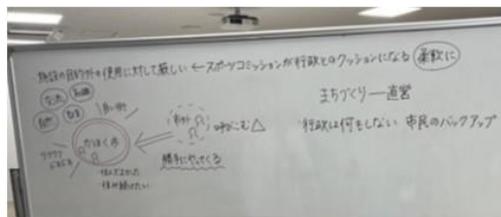
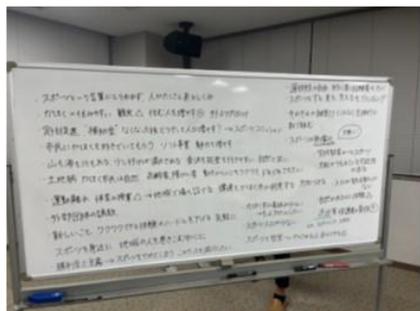
#### <取組内容・成果>

- ・スポーツによる地域活性化を進めていくうえで、ハブとなる機能として位置付けている「かほくスポーツコミッション(仮称)」の設立に向け、地域おこし協力隊を採用し、市の潜在的な魅力についての調査を実施した。
- ・「かほくスポーツコミッション(仮称)」コア会議を開催し、事業のコアとなる担い手の方々との意見交換を行った。

#### 【今後の方向性】

- ・スポーツコミッションを令和5年度中に立ち上げ、スポーツイベントや大会の誘致、開催支援を通じて、関係人口や交流人口の拡大を図り、地域経済を活性化する仕組みづくりに努めます。
  - ①地域おこし協力隊の活動内容を、SNS や市広報誌等により発信していきます。
  - ②地域おこし協力隊が実際にイベントを企画し、賑わいの創造に向けたイベントを実践します。
  - ③部活動の地域移行を進めるうえで、学校、指導主体、中学生、保護者の調整を担う運営団体として位置づけることを検討しており、中学校部活動地域移行検討協議会等の意見を踏まえて協議を進めていきます。

#### 【かほくスポーツコミッション(仮称) コア会議の様子】



数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
(仮称) かほく市スポーツ協会設立 準備検討委員会の立ち上げ	—	素案 作成	調査研究	案作成	地域おこし 協力隊によ る活動	実施

## ② スポーツ少年団への支援

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図るため、スポーツ少年団活動への支援として、活動補助金の交付と事務支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 団員数 30 団体 576 人（うち幼児 17 人） ※市内小学生割合：531/1953 27.2%</li> <li>【令和3年度：30 団体 583 人（うち幼児 1 人）】 (令和5年3月末)</li> <li>* 指導者数 148 人【令和3年度：150 人】</li> <li>* 前年に引続き本部役員と連携し、コロナ禍での活動方針を定め、子供及び指導者、保護者が安心安全な活動を行えるよう努めた。</li> </ul> </li> <li>・スポーツ少年団への加入率（小学生）は市内全児童の約 27%であり、年々減少傾向にある。</li> <li>・青少年の健全育成を図るため、夜 9 時までを活動時間とする指導を強化し、規則正しい生活習慣の定着を図った。</li> <li>・スポーツ少年団は技術の習得だけではなく、社会性、協調性、規律性を育む場として重要な役割を果たしている。</li> <li>・昨年の評価において、今後の方向性とした活動の充実、活性化を図るためのスポーツ少年団への支援をとして、SNS（市公式Instagram）により活動を広く市民にPRした。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化も一因とされる登録団員の減少に対応するため、各団と連携し、活動が継続できる環境づくりや活動の仕方などの創意工夫に取り組みます。</li> <li>・学校とスポーツ少年団との連携・対話を進め、子供の健全な成長のためのスポーツ活動に協力し合う体制を引き続き維持していきます。</li> </ul>						
数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
スポーツ少年団への加入率	32.0%	31.0%	29.0%	29.0%	27.2%	35.0%

### ③ 体育協会（スポーツ協会）への支援

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

＜取組内容・成果＞

- ・市民のスポーツに親しむ機会の提供・拡大のため、スポーツ協会活動への支援として、活動補助金の交付と事務支援を行った。
  - \* 加盟団体数 35 競技団体
  
- ・第 74 回石川県民体育大会は豪雨の影響のため中心会期が中止となった。
  - 【参考】令和元年度結果 男子：総合 9 位、女子：総合 4 位
  
- ・体育協会（スポーツ協会）並びに加盟競技団体（35 競技協会）との連携により開催している市総合体育大会及び各種大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる中、一部の競技については感染症対策を徹底したうえで開催された。
  - \* 市総合体育大会
    - 令和 2 年度（11 競技大会）
    - 令和 3 年度（17 競技大会）
    - 令和 4 年度（24 競技大会）
  
  - \* 競技団体主催大会
    - 令和 2 年度（10 競技大会）
    - 令和 3 年度（8 競技大会）
    - 令和 4 年度（12 競技大会）

【今後の方向性】

- ・本市の競技スポーツ活動を担っている、スポーツ協会及び加盟競技団体への支援を継続し、協会員による円滑な各種大会の実施や事業運営に協力します。また、多くの市民が競技スポーツに親しむ機会の拡大を図るとともに、競技スポーツ人口の増加を図ります。
- ・今後、市公式インスタグラムなどの SNS 媒体を活用し、各競技協会の紹介や大会等の結果、頑張っている活動内容を発信することで、市民の競技スポーツへの興味・関心を高めるとともに、新たなスポーツ人材の発掘や市民のスポーツ離れからの脱却を図ります。
- ・河北郡市主会場となる第 75 回県民スポーツ大会にむけ、スポーツ協会と協力を得ながら進めていきます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
体育協会（スポーツ協会）への 加入者数	3,280 人	2,984 人	3,274 人	3,202 人	3,128 人	3,500 人

#### ④ 地域スポーツクラブへの支援

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

##### <取組内容・成果>

- ・総合型地域スポーツクラブ「パレット」等との連携により、体育施設の指定管理、スタジオプログラムの運営などを進めた。

##### 【クラブパレット概要】

- \*会員数 2,933 人（令和 5 年 3 月末：イベント参加等含む）
- \*教室（こども向け）46 教室（一般向け）16 教室（多世代むけ 14 教室）その他スタジオ・サーキット事業を実施
- \*クラブパレットに体育施設（9 施設）の指定管理を委託した。
- \*宇ノ気体育館のスタジオプログラムや河北台健民体育館のトレーニングジムの運営により市民の体力づくり、健康づくりを進めた。
- \*I T-C A T S かほく推進協議会の一員として、プログラミング教室やロボット教室開催時に参加者の募集・受付と事務・会計を担っている。プログラミング教室は年間を通して 30 回、K-L a b は 156 回開催した。

##### 【アクロス高松】

- \*会員数 1,864 人（令和 5 年 3 月末）

##### 【今後の方向性】

- ・総合型地域スポーツクラブの自立的な運営を支えるため、施設の計画的な長寿命化改修を進めるとともに、運営改善への助言・指導をし、クラブ運営の安定化への支援を行います。
- ・健康増進や介護予防への取組、障害者スポーツの推進、子育て支援、地域活性化等の公益的な事業をクラブ活動として実施することや、学校や各種団体への指導者派遣など、地域課題の解決にむけた取組みを支援していきます。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
地域スポーツクラブへの加入者数 (ジョイ・アクロス登録会員含む)	5,228 人	4,746 人	3,572 人	5,211 人	4,797 人	5,500 人

## ⑤ 高齢者の運動に対する活動支援

担 当 課

スポーツ文化課

### <取組内容・成果>

- ・高齢者の運動の日常化を促進し、体力・健康増進を推進するため、市内の3つの健康クラブに対する支援として送迎バスの手配、指導者の派遣などを行った。
- ・クラブ活動を通じて、体力・健康づくりと会員の相互交流が図られた。

### 【健康クラブ概要】

- ・会員数 高松健康クラブ 34人 七塚健康クラブ 32人 宇ノ気友垣健康クラブ 44人
- ・活動内容 週1回活動（軽運動・ダンス・健康相談（長寿介護課による））
- ・市からの支援内容
  - \* 週1回の活動時の送迎バス手配
  - \* 活動への講師の派遣（高松健康クラブ・七塚健康クラブ）
  - \* 例年行われている交歓大会については新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となった。

### 【今後の方向性】

- ・高齢者が、いつまでも元気で明るく生き生きとした生活をおくることができるよう、福祉や産業などの幅広い分野と連携し、健康寿命の延伸に繋がる健康づくり事業を展開します。
- ・高齢者の健康づくりのひとつの施策であるウォーキング事業について、高齢者が意欲を持って参加できるように、関連する健康部局と連携を図りながら取組めます。
- ・近年の多種多様な運動・スポーツの選択肢の増加に伴い、年々健康クラブの加入者は減少している。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
健康クラブへの加入者数	196人	165人	140人	128人	110人	230人

## 基本的方向 5 - (4) スポーツ活動を支える環境の整備・充実

① スポーツ施設の整備と機能の充実							
担 当 課		スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生涯スポーツ・競技スポーツの拠点施設として、「(仮称)かほく市総合体育館」の整備を進めており、令和4年度は、実施設計を完了し現場に着工した。 3月末出来形は、一部2階までの建方が完了し約20%となっている。</li> <li>・令和4年度においては、宇ノ気体育センター、宇ノ気スポーツセンターのアリーナ等照明のLED化改修工事を実施した。 また、その他社会体育施設において経年劣化による修繕工事を進めた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かほく市スポーツ施設整備計画」に基づき、施設の長寿命化や改修を進め、設備の充実と機能の高度化・強化を継続します。また、施設の再配置や統廃合なども可能性を検討し、市内スポーツ環境を整えます。</li> <li>・総合体育館の整備については、スポーツによる交流・にぎわい創出の核となる拠点施設、トップレベルの大会が開催できる施設、そして、市民がスポーツの場、憩いの場として気軽に利用できる施設として、令和6年4月のオープンに向け整備を進めます。</li> <li>・総合体育館は、高齢者や障がい者、子育て世代などのすべての世代が区別なく、日常的に安全かつ快適にスポーツを楽しむことができるよう、設備のユニバーサル化を進めます。</li> <li>・宇ノ気体育館、うのけ総合公園陸上競技場の照明LED化に改修工事を実施します。</li> </ul>							
数値目標項目		計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市内全スポーツ施設の年間総利用者数		55.6 万人	56.4 万人	39.5 万人	43.8 万人	45.1 万人	58 万人

## ② スポーツ施設の効率的な管理・運営

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇ノ気スポーツセンターについては、民間活力を導入したサービスの向上と効率的な施設管理・運営を図るため、令和4年度から指定管理者制度へ移行した。 （指定管理者・・・かほく市公共施設管理公社、NPO法人クラブパレット、コナミスポーツクラブ・PFUライフエージェンシーグループ）</li> <li>・指定管理については、利用料金制度（施設利用料を指定管理者の収入とする制度）を取り入れ、指定管理者の創意工夫による運営と効率的な管理を継続的に求めている。</li> <li>・総合体育館整備運営事業については、市初となるPFI事業の手法を取り入れ、民間のノウハウや資金を最大限に活用した整備運営を進めている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の管理運営については、継続して指定管理者連絡会を開催し、民間活力を導入したサービスの向上と効率的な施設の管理・運営を推進し有益性の高い効率的な運営を図ります。</li> <li>・総合体育館の施設利用料金の設定にあわせ、その他体育施設の適正な施設利用料金・受益者負担についての検討を行います。</li> <li>・全ての体育施設の指定管理期間が終了することから、次期公募に向けた調整を実施し、候補者の早期決定に努めます。</li> </ul>						
数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市直営のスポーツ施設数	1施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設

### ③ スポーツによる地域活性化の促進

担 当 課

スポーツ文化課

<取組内容・成果>

- ・バレーボールを通じた青少年教育や地域活性化への貢献事業として、P F Uブルーキャッツと宇ノ気中学校3年生との交流が図られた。
- ・ツエーゲン金沢が開催する「かほく市ホームタウンサンクスデー」は、かほく市・津幡町在住者の無料観覧サービス（600人）が実施され、市民に「みるスポーツ」の機会を提供する取組が行われた。  
ホームタウンサンクスデー（2市町合同）6月11日（土） 観客数：11,859人

【今後の方向性】

- ・スポーツコミッションの設立を前に、地域おこし協力隊によるプレイベントを関係団体を巻き込みながら実施していき、スポーツによる地域活性化に努めます。
- ・地元スポーツチームや商業施設、指定管理者との連携により、パブリックビューイングを実施することで、ホームゲームだけではなくアウェーゲームの観戦を行い、「みるスポーツ」の機会を提供します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
トップスポーツチームによる学校訪問等の事業数	1事業	1事業	1事業	1事業	1事業	2事業

# 基本的方向6－(1) 多文化共生社会および国際化に対応した教育の充実

① 国際交流事業の推進						
担当課		生涯学習課				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報紙に姉妹都市交流に関する記事「写真で見る姉妹都市」を掲載した（4、7、10、2月号）。</li> <li>・市広報紙5月号から国際交流員によるコラム連載をスタートした。</li> <li>・中断している姉妹都市交流事業を継続するため、中学生とメスキルヒ市の生徒がEメールで交流する「Eメールエクステンジプログラム」を令和3年から始め、かほく市から40人、メスキルヒ市から45人が参加した。7月にはオンラインミーティングを実施した。</li> <li>・市国際交流協会へ補助金を交付することによって活動を支援し、国際交流ひろばや国際理解セミナー等の行事のほか、姉妹都市提携や交流の歴史を振り返る「メスキルヒ市紹介展」が行われた。</li> <li>・4市2町（金沢市・白山市・かほく市・野々海市・津幡町・内灘町）の国際交流担当課で構成する石川中央都市圏「国際交流連絡会」において、連絡会をオンラインで3回開催し、情報交換や課題の共有等を行い、下記事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン国際交流クイズ大会が開催された（8月）。</li> <li>・金沢国際交流財団主催の「かなざわ国際交流まつり」に連絡会として出展し、パネル展示や圏域内の国際交流事業の紹介などを行ったほか、市観光パンフレットを設置した（10月）。</li> <li>・「姉妹都市・友好都市オンライン交流ツアー」において、ドイツ・フランクフルトからの中継でメスキルヒ市を紹介した（3月）。</li> </ul> </li> <li>・姉妹都市交流事業（青少年派遣）、JAPAN TENTかほく市プログラムは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</li> </ul>						
						
セフギのカフェクラッチェ（広報5月号）		オンライン交流ツアーでメスキルヒ市を紹介				
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市国際交流協会と連携し、国際交流に関心がある市民の情報や互いのイベント情報の共有を図りながら、広報紙やホームページ、SNSなどを活用して積極的にPRするとともに、イベント実施後の取組模様についても広く周知していきます。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた姉妹都市交流事業を再開し、4年間でできなかった直接交流を実施し、相互の親睦を深めます。</li> </ul>						
数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
姉妹都市メスキルヒ市との相互交流人数（累計）	831人	875人	875人	915人	970人	950人

## ② 多様な文化に対する理解の推進

担当課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・市広報紙に多文化共生に関する記事「考えてみよう 多文化共生のこと」を掲載した（6、9、12、3月号）。
- ・国際交流員（CIR）による「kahokuシュタムティッシュ」を開催し、ドイツのボードゲームなどを通じて外国人と交流する機会を設けた（5、10、3月）。
- ・グローバルな活躍をめざす若者を応援するための「かほく市海外留学応援奨励金」について、広報紙への掲載で周知を図った（4月号）。
- ・県国際交流協会主催、かほく市・津幡町共催による外国につながる子どもサポーター養成講座を開催した（7月3回）。
- ・市国際交流協会による市民サロン「K-CAFE」が開催された（毎週火曜日 10時～13時）。
- ・サポーター募集を行った（2月）。



多文化共生に関する掲載記事（広報3月号）

かほく市海外留学応援奨励金

### 【今後の方向性】

- ・国際理解と多文化共生を推進するため、市国際交流協会や国際交流に興味関心のある市民と協力し、外国籍の方との交流の場を増やし、更なる国際交流を促進します。
- ・令和3年度から開催している、外国につながる子どもサポーター養成講座を開催し、不安を抱える外国人の親子に対するサポート体制を強化します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市海外留学応援奨励金の交付件数	—	0件	0件	1件	0件	3件

### ③ 実践的な外国語教育の充実

担当 課

生涯学習課

＜取組内容・成果＞

- ・小学校の「外国語（英語）」教科化に向けて 2017 年度（平成 29 年度）から中央図書館で始まった未就学児・小学生も対象にした「英語のおはなし会」を継続して開催した。
- ・市民の国際交流・国際理解への関心を高めるため、子育て支援センターやこども園に国際交流員（CIR）を派遣した。



英語のお話会の様子

【今後の方向性】

- ・「英語のおはなし会」を継続することにより、幼少期から外国語に親しめる取り組みを推進します。
- ・中央図書館、子育て支援センター、こども園のほか、市国際交流協会等の各種団体とも連携し、国際理解教室などの各種行事に国際交流員を派遣することにより、幅広い世代の市民との交流機会を設け、国際理解や多文化理解を推進します。

数値目標項目	計画策定時 (実績値)	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
国際理解教室等開催数（CIR 派遣含む）	68 回	57 回	2 回	14 回	34 回	80 回

## 基本的方向 6 - (2) 人権教育の推進

① 学校教育における人権教育の推進	
担当課	学校教育課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科、道徳など教育活動全体を通じた人権教育の推進に取り組んだ。特に人権週間の期間においては、各校で人権講演会を企画するなど、人権意識の高揚を図った。</li> <li>金沢地方法務局及び市民生活課と連携を図り、「人権の花」運動、人権教室などを実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広く地域の人材を活用した人権教育を推進します。</li> <li>人権週間における各校の取組が一層充実したものとなるよう努めます。</li> </ul>	

② 社会教育における人権教育の推進	
担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川中央広域圏男女共同参画推進協議会作成の性の多様性について考えるリーフレットを市役所などの公共施設に設置、ホームページへの掲載のほか、石川県作成の人権啓発冊子を設置し、人権意識の啓発を行った。</li> <li>石川県が作成する人権啓発リーフレット「新成人に贈る人権メッセージ」を第19回成人式の記念集合写真にあわせて配布した。</li> <li>市民生活課と共催で実施している人権映画上映会を3年ぶりに開催した。</li> </ul>	
	
性の多様性について考えるリーフレット	人権啓発冊子
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川中央広域圏男女共同参画推進協議会や市民生活課との連携により更なる啓発活動を進めます。</li> <li>多くの方々が参加しやすい映画上映会を通して幅広い世代の方に対して啓発活動を進めます。</li> <li>市広報紙への掲載、チラシの配布、ホームページへの掲載等、あらゆる広報媒体を利用し周知活動に力を入れます。</li> </ul>	

### Ⅲ 資料

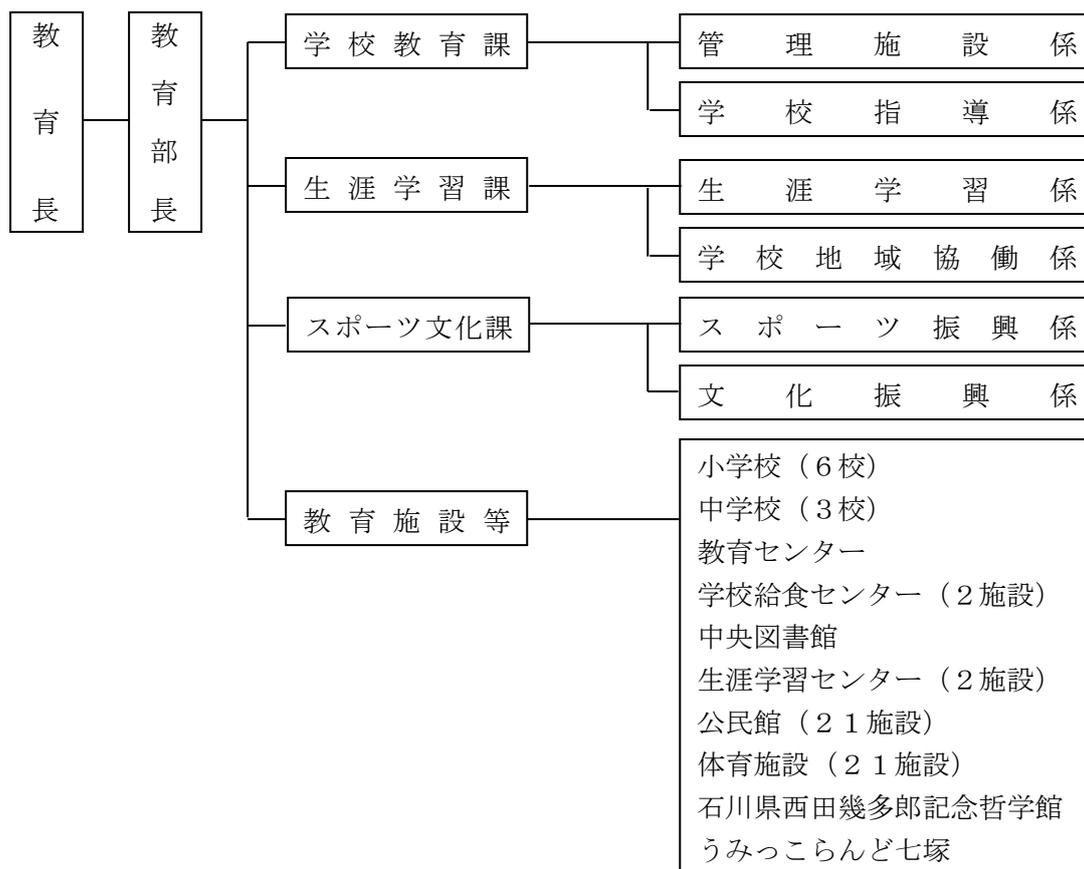
#### 1 教育長・教育委員会委員名簿

(令和5年5月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	山越 充	令和 4年4月28日～令和 7年4月27日
教育長職務代理者	鮎野 武利	令和 2年4月28日～令和 6年4月27日
教育委員	長柄 悦子	令和 5年4月28日～令和 9年4月27日
教育委員	諸井 幸子	令和 3年4月28日～令和 7年4月27日
教育委員	竹中 健司	令和 4年4月28日～令和 8年4月27日

#### 2 教育委員会の組織

(令和5年4月1日現在)



### 3 教育施設等

#### (1) 小学校

(令和5年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治 6年	405人
かほく市立大海小学校	明治 8年 1月	74人
かほく市立七塚小学校	明治 6年 7月 4日	279人
かほく市立外日角小学校	明治 8年 11月 17日	455人
かほく市立宇ノ気小学校	明治 8年 4月 10日	692人
かほく市立金津小学校	明治 6年 11月	60人

#### (2) 中学校

(令和5年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和22年 4月 1日	222人
かほく市立河北台中学校	昭和32年 4月 1日	281人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和22年 4月 1日	351人

#### (3) 教育センター

(令和5年4月1日現在)

かほく市教育センター
------------

#### (4) 学校給食施設

(令和5年4月1日現在)

かほく市第1学校給食センター	かほく市第2学校給食センター
----------------	----------------

#### (5) 社会教育施設

(令和5年4月1日現在)

かほく市立中央図書館	かほく市七塚生涯学習センター
かほく市宇ノ気生涯学習センター	石川県西田幾多郎記念哲学館
かほく市うみっこらんど七塚	かほく市高松公民館
かほく市二ツ屋公民館	かほく市長柄町公民館
かほく市木津公民館	かほく市松浜公民館
かほく市遠塚公民館	かほく市浜北公民館
かほく市秋浜公民館	かほく市外日角公民館
かほく市白尾公民館	かほく市森公民館
かほく市指江公民館	かほく市至誠が丘公民館
かほく市気屋公民館	かほく市宇気公民館
かほく市七窪公民館	かほく市宇野気公民館
かほく市内日角公民館	かほく市大崎公民館
かほく市金津公民館	かほく市上田名公民館

(6)社会体育施設

(令和5年4月1日現在)

かほく市高松体育センター	かほく市七塚体育センター
かほく市宇ノ気体育センター	かほく市河北台健民体育館
かほく市宇ノ気南部体育館	かほく市宇ノ気新化館
かほく市七窪体育館	かほく市宇ノ気スポーツセンター
かほく市宇ノ気体育館	かほく市うのけ総合公園陸上競技場
かほく市サッカー・ラグビー競技場	かほく市七塚中央公園多目的運動広場
かほく市高松野球場	かほく市少年野球場
かほく市金津ソフトボール場	かほく市七塚テニスコート
かほく市高松グラウンド・ゴルフ場	かほく市七塚武道館
かほく市高松弓道場	かほく市宇ノ気弓道場
かほく市アクロス高松	

4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和4年度  
事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価報告書

発行年月：令和5年8月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課	TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643 E-mail : gakkou@city.kahoku.lg.jp
生涯学習課	TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-3643 E-mail : syougai@city.kahoku.lg.jp
スポーツ文化課	TEL 076-283-7135 / FAX 076-283-3643 E-mail : spobun@city.kahoku.lg.jp

〒929-1195 石川県かほく市宇野気ニ81番地（かほく市役所内）

URL : <http://www.city.kahoku.lg.jp/>